

# 官報號外

明治二十八年二月十六日

土曜日 内閣官報局

## ○第八回 衆議院議事速記録第二十二號

明治二十八年二月十五日(金曜日)午後一時十九分開議

議事日程 第三十二號 明治二十八年二月十五日

午後一時開議

第一 徵兵令中改正追加法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

古物商取締法案(本院提出貴族院回付)

陸奧國青森港ニ於テ露領浦鹽斯德港及西比利亞

沿岸貿易ニ關スル船舶ノ出入及貨物積卸許可法 第一讀會

律案(源威君外一名提出)

長門國下ノ關港豐前國門司港ニ於テ朝鮮支那印

度露領沿海州貿易ニ關スル船舶ノ出入及貨物積卸許可法案(福江角太郎君外三名提出)

明治二十二年法律第十號中改正法律案(小室重 第一讀會

弘君外七名提出)

第六 洪水臨時防禦ニ關スル建議案(櫻井勉君外六名提出)

衆議院議員脇坂行三君外一名提出シマスル

脇坂行三君外一名提出シマスル質問ニ對シ野村内務大臣ヨリ

答辯アリタリ

(林田書記官朗讀)

○議長(楠本正隆君) 諸君、諸般ノ報告ヲ爲シマスル

第七 洪水臨時防禦ニ關スル建議案(櫻井勉君外六名提出)

衆議院議員脇坂行三君外一名提出赤痢病豫防ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯

書差出候也

明治二十八年二月十四日

内務大臣子爵野村靖

衆議院議長楠本正隆殿

衆議院議員脇坂行三君外一名提出赤痢病豫防ニ關スル質問ニ對スル

答辯書

一赤痢ノ流行年一年ニ増進シ最近二年間殊ニ猖獗ヲ極メシニ依リ之カ豫防

事業ニ就イテモ一層ノ周到ヲ期シ地方官ハ其防遏上有效ト認ムル方法手

段ヲ盡シ尙政府ハ之カ監督ヲ勉メ又市町村豫防費負擔ノ途ヲ明ニシ時ニ

臨テ必要ノ訓令ヲ發シ及ヒ主務官吏ヲ派出シテ各流行地ノ景況ヲ視察シ

豫防ヲ督勵セシムル等本病豫防上必要ノ措置ヲ爲シ未タ曾テ度外視シタ

ルコトナシ

一赤痢ノ病毒ハ今ヤ殆ント全國ニ瀰漫シ廣島市亦其流行區域内ニ在リ故ニ

當初軍國ノ事起ルニ膺リ殊ニ一層ノ注意ヲ加ヘ其防遏ヲ務ムト雖モ多年

ノ積毒未タ撲滅ノ效ヲ收ムルニ至ラサルハ最モ遺憾トスル所ナリ蓋シ赤痢、腸窒扶斯ノ如キハ其病毒タル一般衛生上ノ景況不良ナルニ乘シテ其效傳播ヲ逞フスル者ナルカ故ニ流行時ニ於ケル豫防上ノ措置ヲ爲スト同時ニ飲料水ノ改良下水ノ疏通其他住地ノ清潔個人攝生ノ普及等相待テ其效ヲ收ムヘキモノニシテ或ル一期ヲ限リテ病毒ヲ掃蕩シ得ヘキモノニアラス依テ之カ改良發達ヲ誘導シ漸次ニ病毒ノ全滅ヲ圖リ豫防ノ實績ヲ收メシコトヲ期セリ

一戰地ヨリ歸朝ノ軍人軍夫等ニ依リ各種ノ惡疫ヲ内地ニ傳播セシメサランカ爲メ既ニ歸朝ノ傳染病患者ハ廣島豫備病院ニ收容シテ治療ヲ爲シ未タ他ニ蔓延ノ事實アルヲ認メス然レトモ他日全軍凱旋ノ時ニ際シテハ危險ノ虞アルヘキヲ以テ之カ豫防ノ方法ニ就テハ目下調査中ニ屬セリ

右及答辯候也

明治二十八年二月十四日

内務大臣子爵野村靖

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

博多港ニ於テ朝鮮國清國及露領浦鹽斯德港貿易ニ

關スル船舶出入及貨物積卸許可法律案

提出者

鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者

吉富簡一君

重野謙次郎君

重岡薰五郎君

名倉次君

河北勘七君

藤尾寛三君

松尾金作君

恒元凱君

小鷹狩元凱君

河松隆慶君

改野耕三君

志波三九郎君

佐々木正藏君

加賀美嘉兵衛君

西村禮作君

佐々木肇君

特別委員長及理事左ノ通リ當選セラレタリ

工業學校設置ニ關スル建議案審查特別委員長

同理事

河原林義雄君

前川楨造君



鐵ニ依ラズシテ三箇年兵役ニ服サセマスルト、二箇年六箇月ニナルノデス、ソレ故ニ此處デハサウ云フモノハ既ニ六箇月義務ヲ負ハシタモノデアルカラ

シテ、二十八年前ニ職ヲ罷メレバ二年間兵役ノ義務ニ服サセルト云フノデアリマス、幾分カ前ヨリ義務ガ輕クナツタノデアリマス、ソレカラ尙ホ御参考ニ申スノハ、豫備ト云フモノガ則チ補充兵デアリマス、是迄ハ鐵カラ外レタ者ハ悉ク豫備員デアリマシタガ、今度ハサウデナクシテ、必要ナル人員ヲバ第一ノ豫備兵トシテ、其外又第二ノ補充兵モ必要ダケ取ッテ多少剩タ壯丁ハ是マデノヤウニ悉ク足留ラスルノデナクシテ、ソレハ自由ノ身トナツテ豫備員ト云フヤウナ部類ノ中ニハ無イノデアリマスカラ、一方ニ向フテハ四箇月ノ義務ガ殖エタヤウデアルガ、一方ニ向フテ多數ノ壯丁ハ第一ト第二ノ補充兵カラ外レタ者ハ是マデノヤウニ豫備員ト云フテ足留ラサレテ居ルト云フヤウナ譯デアリマセヌカラ、是モ一方ニ於テ義務ガ増シタヤウデアリマスガ、全體ニ向フテ矢張平均シテ居ルヤウナモノデアリマス、デ此事ハ諸君ガ十分ニ御存知ノコトデアリマスカラ、委シク申シマセヌガ、何カ御質問ガアレバ御答辯シテモ差支ハナイノデス、ソレカラ委員長ノ資格ヲ以テ申スノデヘアリマセヌガ、ちよつと登タ序ニアリマスカラ、諸君ノ御参考ノタメニ申上げテ置キタインハ、此三十三條デアリマスガ、ちよつと御覽ナス<sup>シテ</sup>——第三十三條ノ中「當分之ヲ施行セス」ヲ「漸ヲ以テ施行ス」ト云フコトニ換ヘタノテアリマスルガ、是ハ現行ノ第三十二條ヲ讀ンテ見マスト「本令ハ北海道ニ於テ函館江差福山ヲ除ク外」ト書イテアルノデアリマス、是ハドウ云フ譯カト申シマスルト、御存知ノ通り北海道ハ函館江差福山ハ既ニ徵兵令ガ行ハレテアリマスカラ、ソレヲ除ク外ハ徵兵令ハ行ハナイト云フ文章デアル、其文章ヲうづくり用ヒテ「漸ヲ以テ施行ス」ト書イタモノノデアルカラ、前カラ舊法カラ續ケテ讀ムト「江差福山ヲ除ク外ハ漸ヲ以テ施行ス」ト云フノデアリマスカラ、殆ド三箇所ハ尙ホ徵兵令ハ施行シナイト云フ風ノ意味ニ讀メルノデアリマス、故ニ「此江差福山ヲ除ク」ト云フ「ヲ除ク」ト云フ三字ヲ削リマスルト、江差函館福山ノ外ニモ段々行フト云フ意味ニナシテ、ソレニ語路ガ宜カラウト思ヒマスカラ、是ハ委員附託外デアリマスカラ、ソレマデ遡<sup>シ</sup>テ修正ガ出來マセヌカラ、うつちやつテ置キマシタガ、唯御参考ノタメニ申上ゲテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 該案ニ對シテ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠本正隆君) 大多數

○江原素六君(三十四番) 直ニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○大原重右衛門君(二百九十九番) 本員ハ此案ニ就キマシテハ十分委員ヲ置イテ精密ナル調査ヲ盡サレマシタコトデアリマシテ、大體溝場御異議ガナイヤ

ウデゴザイマスカラ、直ニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君)

江原素六君ノ直ニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ガ居

ナイト認メテ宜シウゴザイマスカ  
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

徵兵令中改正追加法律案(政府提出)

第二讀會

ニ申スノハ、豫備ト云フモノガ則チ補充兵デアリマス、是迄ハ鐵カラ外レタ者ハ悉ク豫備員デアリマシタガ、今度ハサウデナクシテ、必要ナル人員ヲ

バ第一ノ豫備兵トシテ、其外又第二ノ補充兵モ必要ダケ取ッテ多少剩タ壯

丁ハ是マデノヤウニ悉ク足留ラスルノデナクシテ、ソレハ自由ノ身トナツテ豫備員ト云フヤウナ部類ノ中ニハ無イノデアリマスカラ、一方ニ向フテハ

四箇月ノ義務ガ殖エタヤウデアルガ、一方ニ向フテ多數ノ壯丁ハ第一ト第二ノ補充兵カラ外レタ者ハ是マデノヤウニ豫備員ト云フテ足留ラサレテ居ルト云フヤウナ譯デアリマセヌカラ、是モ一方ニ於テ義務ガ増シタヤウデアリマスガ、全體ニ向フテ矢張平均シテ居ルヤウナモノデアリマス、デ此事ハ諸君ガ十分ニ御存知ノコトデアリマスカラ、委シク申シマセヌガ、何カ御質問ガアレバ御答辯シテモ差支ハナイノデス、ソレカラ委員長ノ資格ヲ以テ申スノデヘアリマセヌガ、ちよつと登タ序ニアリマスカラ、諸君ノ御参考ノタメニ申上げテ置キタインハ、此三十三條デアリマスガ、ちよつと御覽ナス<sup>シテ</sup>——第三十三條ノ中「當分之ヲ施行セス」ヲ「漸ヲ以テ施行ス」ト云フコトニ換ヘタノテアリマスルガ、是ハ現行ノ第三十二條ヲ讀ンテ見マスト「本令ハ北海道ニ於テ函館江差福山ヲ除ク外」ト書イテアルノデアリマス、是ハドウ云フ譯カト申シマスルト、御存知ノ通り北海道ハ函館江差福山ハ既ニ徵兵令ガ行ハレテアリマスカラ、ソレヲ除ク外ハ徵兵令ハ施行シナイト云フ風ノ意味ニ讀メルノデアリマス、故ニ「此江差福山ヲ除ク」ト云フ「ヲ除ク」ト云フ三字ヲ削リマスルト、江差函館福山ノ外ニモ段々行フト云フ意味ニナシテ、ソレニ語路ガ宜カラウト思ヒマスカラ、是ハ委員附託外デアリマスカラ、ソレマデ遡<sup>シ</sup>テ修正ガ出來マセヌカラ、うつちやつテ置キマシタガ、唯御参考ノタメニ申上ゲテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 通告ガアリマスカラ、ソレガ終リマシテカラニ願ヒマス——小鷹狩元凱君

(小鷹狩元凱君演壇ニ登ル)

○小鷹狩元凱君(百五十一番) 私ハ今度ノ改正ニ就キマシテ第三條中「四箇月」ノ三字ヲ加フルコトガゴザイマスガ、此四箇月ト申シマスモノハ削<sup>シテ</sup>宜カラウト存ジマスノデ、其事ハ別段ニ四箇月ヲ豫備軍ニ加ヘナク<sup>シテ</sup>モ陸

軍ノ徵集上ニ決シテ差支ガナイ、差支ガナイ以上ハフレダケノ租稅ヲ増スコトヲシナク<sup>シテ</sup>モ濟ムコト、存ジマスカラ、極ク簡単ニ其四箇月ト申スコトヲ除ケマスルコト<sup>シテ</sup>ちよつと此所ニ申上げマス、ソレカラ之ヲ殘ラズ通ジテ

何デゴザリマスカラ、第六條デゴザイマスガ、第六條ノ「國民兵役ハ分テ第一國民兵役第二國民兵役トス」トゴザイマス、是ヲモ無理ニ第一第二ト分タナクテモ、陸軍ノ軍隊上ニハ決シテ妨ナイ、妨ナイノミナラズ私ノ考デハ却テ用ヲ爲スデアラウト思フ、又少シク經驗上ノ方モゴザイマスルデ、ドウカ諸君ノ御協賛ヲ得ムガタメニ、此條モ元ノ儘ニシテ置キマシテ、其代リニ第二項ニ聊カ加ヘルコトヲ申上げヤウト存ジマスカラ、暫ノ間御清聽アラムコトヲ願ヒマス、此四箇月ヲ陸軍ニ於キマシテ延ベラレタ趣意ト申シマスモ

ノハ、人員ノ計算上ナドハ煩ハシイカラ、第一讀會ノ時ニ私ガ聊カ質問ヲ致シマシタコトガ速記ニモ書イテゴザイマスカラ、諸君モ御承知ゴザイマセウカラ、申ス必要ハゴザイマセヌガ、要シマスル所ハ新兵ノ入營ハ十二月ノ一日カラ致シマシテ、翌年ノ三月ノ盡日頃デナケレバ、一人ノ兵卒トナルコトガ出來ナイデアリマスカラ、ソレ故ニ直ニ其時ニ何ゾ事が起リマシテ、事

畫ト申シマスルモノハ、四月一日ガ計畫ノ始デアツテ、然ルニ動員計畫ヲ此所デ改メレバ宜シウゴザイマスガ、改メルト云フコトハ是亦一年限ノコトデ

ゴザイマスカラ、改メルコトガ出來ナイ、然ルニ豫備兵ト云フモノガ四箇年ゴザリマシテ、ソレデ何モ事ガ足リル譯デゴザイマスガ、唯今申シマシタ通

ニ、徵兵ノ新兵ノ如キハ、三分ノ一ト申シマスルモノガナクナリマスルト、ソレデ豫備兵ト申シマスルモノハ四箇年ノ者ガ居

リマスルガ、併ナガラ此時ニ方<sup>シテ</sup>ハ彼ノ滿四年ノ服役ヲ致シマシタ所ノ、

四年目ノ豫備兵ヲ其儘三箇月残シテ——イヤ四箇月延シテ置クト云フコトデ  
ゴザリマスレバ、丁度矢張彼ノ戰列隊へ加ヘル人、或ハ補充隊へ加ヘル人等ニ  
於テ差支ナシニ、動員計畫ヲ改メル煩雜モナイカラ、ソレ故ニ此豫備兵ト申  
シマスルモノヲ、四箇月間兵役ヲ延セル、四箇月延セバ丁度此豫備兵ハ何年  
間ノ者ガ居ルカト申シマスルト、五箇年分豫備兵ニ居ルノデアルカラ、計畫  
上ニ於テハ大變都合ガ宜イコトデアルカラ、ソレ故ニ戰ニ臨ミマシテモ、後  
ヲ顧ルコトモナシ、又ハ平日ノ所ニ於キマシテモ計畫ヲ致シマスルノニ、聊  
カ差支ナイコトデアルカラ、延ベルト云フノガ政府ノ請求ノ譯デアリマス、  
然ル所ガ私ノ考ヘマスルニハ、四箇月延ベルト申シマスルノハ、是ハ頗ル重  
大ノ事件ト思ロマス、何故ナレバ最早四箇年ノ豫備兵ヲ勤メテ居ルコトデア  
リマスカラ、其上ニ又四箇月ヲ加ヘテ、又後備兵ノ方ニ於キマシテモ、後備  
兵ノ方ハ五箇年ノモノデゴザイマスカラ、ソレヲ四箇年八箇月ト致シマスレ  
バ、十二年デ済ムコトデゴザイマスカラ、政府デモ妨ナシニ、又人民ノ方ニモ餘計ノ負擔ヲ  
ハ其儘五年服役ヲサセルコトデゴザリマスカラ、サウ致スト最初徵集ニナリ  
マシタ時カラハ、十二年四箇月ニナル、ソレダケノ餘計ニ租稅ヲ負擔サセ  
ルコトデゴザリマスカラ、政府デモ妨ナシニ、又人民ノ方ニモ餘計ノ負擔ヲ  
スルニ及バスト云フ良法ヲ求メテ、此四箇月ト云フノ除カウト思フ、ソレ  
ハドウスルカト申シマスレバ、豫備役ノモノガ四箇年デ服役ヲ致シマシテ、  
ナラヌト云フノデゴザイマスガ、私ハ動員ノ計畫ノ方ハ其儘ニ致シテ置イ  
テ、矢張後備役ニ服シテ置イテ、名ハ後備役デゴザイマス、サウスルガ、此四箇月ハ  
備隊ニ——豫備隊デハゴザリマセヌ、後備兵ヲ以テ彼ノ四年ノ服役ヲ終ヘタ分ノ後  
備兵ヲシテ、其儘其年ノ四月ノ一日ニ計畫致シマシタル動員計畫ヲ其儘ニ置  
イテ、サウンシテ此四箇月ニ於テ後備兵ヲ戰列隊へ加ヘルコト、ナリ、或ハ豫  
備隊ニ——豫備隊デハゴザリマセヌ、後備兵ヲ以テ彼ノ四年ノ服役ヲ終ヘタ分ノ後  
備兵ヲシテ、其儘其年ノ四月ノ一日ニ計畫致シマシタル動員計畫ヲ其儘ニ置  
イテ、サウンシテ此四箇月ニ於テ後備兵ト云フモノハサウ云フ方ヘ用ヒルモノデナ  
イ、後備兵ハ既ニ後備兵ノ一定ノ務メノ勤務ガアツテ、御前方申ス如ク名ヲ  
變ヘタ以上ハ、豫備兵ノ足シニスルコトハ出來ナイデハナイカト云フ御論ガ  
アラウカト思ヒマス、ソレハ聊カ差支ナイコト、思フ、此三條中ノ豫備兵ト  
申シマスルモノハ、此歩、騎、砲、工其他ノ雜兵モ皆加ハツテ居ルコトデゴ  
ザリマス、故ニ此中ニ加ツテ居ルコトデゴザリマスカラ、彼ノ——大砲ノ砲デ  
ゴザリマスガ——、砲兵ニ於キマシテハ如何ナルコトデアルカト申シマスレ  
バ、豫備ヲ終ヘテ後備軍ニ移ツタモノヲ、尙ホ戰時事變ノ時ニ方ツテハ、現  
役兵ト共ニ使フト云フコトガ、其説明中ニ書イテゴザイマスカラ、歩兵其  
他ニ於キマシテモ縱令後備兵ニ移スニモセヨ、四箇月間ノ間ハ或ハ戰列隊ニ  
加ヘルナリ、或ハ補充隊ニ加ヘルナリ、私ハ聊カ差支ヘルコトハナイ、是

他ノ法律外ノコトヲ以チマシテ、規定ヲ致シマシテ、行政官ニ於テ之ヲ十分ニセラレタラ、私ハソレデ宜カラウト思ヒマス、是ガ私ガ四箇月間ヲ延ベルト云フコトヲ消シマシテ、後備軍ニ於テモ聊カ差支ナイト云フコトヲ以テ實ニ此四箇月ト云フコトヲドウカ此條カラ抜イテ貰ヒタイト申スコトデゴザイマス、ドウカ此事ハ満場諸君能ク御考ニナリマシテ、何分ニモ是ダケノモノハ殖エルコトデゴザイマシテ、政府ニ損ガアレバ免モ角モ、政府ニハ損ノナイコトデアリマスカラ、御賛成アラムコトヲ希望致シマス、ツレカラ其次ハ第六條デゴザイマス、第六條ノ方ニ於キマシテハ「第一國民兵役ハ後備兵役及第一補充兵役ヲ終リタルモノ之ニ服ス」トアル、第一ト第二ト分ケテ、成程第一ノ方ハ考ヘルトちよつと工合ガ宜シイ、何故ニ工合ガ宜シイカト申シマスルト、此者等ハ曾テ教育ヲ受ケタ者デアル、陸軍ノ教育ヲ受ケタモノニアルカラ、此方ノ者ヲ先キニ取レバ、大變便利ハ宜イヤウニ思フ、併ナガラ私ノ考ニ於キマシテハ、第一國民兵役ト云フモノハ、道理ニモ適ハヌコトデアル、又實際上ニモ適ハヌト云フコトヲ私ハ斷言スル、如何トナレバ後備兵役ト云フモノハ、十二年ノ已ニ服役ヲ終ッテ、ツレダケノモノヲ終ヘタ者デハゴザリマセヌカ、其十二年ノ兵役ヲ終ヘタ者デアルガ故ニ、汝ハ先キニ金ヲ以テ租稅ヲ拂フタカラ、今度ノ租稅ヲ拂フニモ、人竝ノ今マデ租稅ヲ拂ハナイ者ヨリ先キニ金ヲ拂ヘト云フノト、一般ノ事ダラウト思フ、是ハ私ハ道理ニ於キマシテ決シテアルベキコトデナイト思フ、ツレカラ第二ハ聊カ經驗上カラ私ガ申シマスガ、此後備兵アタリヲ終ヘマシタ者ハ、年ハ幾ツデアルカト申シマスレバ、三十二以上ノ者デアル、成程人間三十二ヤ四十位マデノ間ハ極ク衰ヘタト云フ場合デモゴザイマスマイガ、併ナガラ三十二以上ノ者ト云フモノハ衰ヘル方ニ向フノデアル、然ルニ若キ所ノ者ヲ措イテ、サウシテ年取タル者ヲ取ルト云フコトハ、私ハ軍隊上ニモ宜シクナイコトデアラウト思フ、殊ニ後備兵ト云フモノニ至リマシテハ、三十二以上ノ者デゴザイマスカラ、妻子ト云フモノモ澤山ニ持ツテ居ルコトデゴザイマスカラ、戰鬪ニ際シマシテモ幾ラカ後ヲ顧ルト云フコトモゴザイマスルシ、若イ者ニ於キマシテモ妻子ガナイデハナイ、妻子ガナイデハナイケレドモガ、三十二以上ノ者ニ比較致シマスレバ、餘程妻子ヲ持ツテ居ル者ガ少ナイト存ジマスカラ、向フ見ズニ働くコトハどちらニアルカト申シマスレバ、是ハ必ズ若キ者ノ方ニマアラウト思フ、故ニ私ハ此實際ニ於キマシテモ、此後備兵ヲ取ツテハ役ニ立タナイト思フ、ソレカラ——サウ云フコトガゴザイマス、所ガソンナラドノ邊カラ取ツテ宜イカト申シマスレバ、十七歳ノ者ガ一番若イ者デゴザイマスカラ、十七歳ノ者カラ取リマシタナラバ、至極私モ宜シクト考ヘマスルガ、十七歳ノ者カラ取ルト、又不便利ガアル、是ハ昨日政府委員カラノ御話ヲ委員會ニ於キマシテ承リマシテ、私モ是ハ成程ト存ジマシタ、何トナレバ十七歳カラ滿二十歳ト云フモノハ後ノ年ノ新兵トナツテ出ル者デアル、其者ヲ先キニ取ルト、本年來年ト戰爭ガ長ク續キマス時ニハ、新兵ヲ募ルベキモ

ノガナイヤウニナル、是ハ一ト通ノ道理デアルト思フ、故ニ私ガ國民兵ヲ取  
ル順序ハ、ドウシタラ宜シイカト申シマスレバ、滿二十一年ノ者カラ順次ニ  
四十歳ノ者マデヲ取ッテ、ソレデモ尙ホ足ラヌトキニハ、十七歳カラ滿二十  
歳ノ者ニ及ボスト云フ方法デ私ハ取りタイト思フ、所ガ又一方ノ論者カラ申  
シマスレバ、後備兵ナラ免モ角モ、教育ノアル者デアル、新ニ取ッタ者ヲ俄  
ニ兵隊ニシヤウト云フコトニナッテハ、是ハナカヽ容易ナコトデハナイ、  
殊ニ第一幹部則チ陸軍ノ言葉デ云フ幹部、則チ將校下士モナイ故ニ將校ハ退  
役者ヲ取ラケレバナラヌ、退役者ヲ取ルト云フコトニナレバ、退役者ハ既  
ニ兵隊ニ於テハ遠ザカッタ者デアル、役ニ立タヌト云フコトヲ或ル論者ノ如  
キハ申シマスルケレドモガ、其將校ガ役ニ立タヌト云フ者ナラバ、後備兵ナ  
ル者モ既ニ役ニ立タヌト言ハナケレバナリマセヌ、私ハ幹部ノコトニ就イテ  
ハ別ニ考ヘル所ガアッテ一々ハ述ベマセヌガ、此事ハ少々考ガゴザリマシ  
テ、將校ヲ揃ヘルニモ下士ヲ揃ヘルニモ、十分餘裕ノアルト云フコトハ、別  
段ニ持ツテ居ルコトデアリマス、ソレ故ニ私ハ免モ角モ若イ者カラ、今ノ二  
十一歳ノ者カラ取ルト云フコトヲ致シマシテ、是ハ先年明治七年臺灣ノ事ガ  
起リマシテ、其後日清事アラムトスル時ニ兵ガ足リヌト云フコトガアリマシ  
タ、其時陸軍ハ如何致シタカト申シマスト、徵兵ノ年齢ヲアルニ遡リマシ  
テ、現ニ東京鎮臺ノ如キハ三大隊募ツタコトガアリマス、其者ハ三箇月教育  
致シマシタラ立派ナ兵ニナリマシテ、サウシテ是ハ十年ノ役ニハ戰地ニ參リ  
マシテ、功名モ立テタ程ノコトデゴザイマスカラ、國民軍ヲ募ルト云フコト  
ハ、サウ俄ノコトデハナイコトデゴザイマスカラ、現ニ今日日清ノ事デモ、  
ルニモ、私ハ容易ニ出來ルコトデアラウト存ジマスカラ、諸君ニ於キマシテ  
昨年ノ六七月カラ起シテ、今日マデモ國民軍ハ召集セヌト云フヤウナ譯デゴ  
ザイマスカラ、攻守ノ勢ニハ場合ニ依シテハ異ルモノガアルカハ知レマセヌ  
ガ、國民軍ヲ育ツルニ於テ何モ支ヘルコトハナイ、又幹部ナル將校下士ヲ造  
モノニ至リタル後満十七歳ヨリ満二十歳ノ者ニ至ルヲ以テ順序トス」ト云フ  
コトヲ書加ヘマシタラバ、此國民兵ヲ募ル順序ニ於キマシテモ、聊カ支ハ  
ナイコト、存ジマスカラ、此邊ハドウゾ諸君ニ於キマシテモ、篤ト御考ニナ  
リマシテ、私ガ今申上げマシタ二箇條トモ、御贊成アラムコトヲ私ハ希望致

ノガナナイヤウニナル、是ハ一ト通ノ道理デアルト思フ、故ニ私ガ國民兵ヲ取  
ル順序ハ、ドウシタラ宜シイカト申シマスレバ、満二十一歳ノ者カラ順次ニ  
四十歳ノ者マヂヲ取ッテ、ソレデモ尙ホ足ラヌトキニハ、十七歳カラ満二十  
歳ノ者ニ及ボスト云フ方法デ私ハ取りタイト思フ、所ガ又一方ノ論者カラ申  
シマスレバ、後備兵ナラ寇モ角モ、教育ノアル者デアル、新ニ取ッタ者ヲ俄  
ニ兵隊ニシヤウト云フコトニナッテハ、是ハナカニ容易ナコトデハナイ、  
殊ニ第一幹部則チ陸軍ノ言葉デ云フ幹部、則チ將校下士モナイ故ニ將校ハ退

○議長（楠本正隆君）此修正ニハ定數ノ賛成ヲ得ラレマセヌ、修正説ハ消滅ニ歸シマスル

○江原素六君（三十四番）現行徵兵令ノ第三十三條ニハ本令ハ北海道ニ於テ函館江差福山ヲ除ク外沖繩及云々ハ徵兵令ヲ執行シナイト云フノガ、前ノ文章デアリマス、ソレヲそつくり用ヒテ參リマシタカラ、少シ文章ノ語路ガ悪ウゴザイマスカラ「ヲ除ク」ト云フ三字ヲ除キタイト思ヒマスガ、動議ヲ提出シマス

○吉富簡一君(百五十二番) 唯今ノ通ニ實際ニシマセヌト、甚ダ文章ガ不都合デゴザイマスカラ、贊成ヲ致シマス

○議長（楠本正隆君）江原君ノ修正ハ成立致シマス  
〔賛成々々〕ノ聲起ル

○前川楨造君(百六十四番) ドレヲドウナサルノデアリマス  
○江原素六君(三十四番) 「ヲ除ク」ト云フ分ヲ除クノデアリマス

○議長（楠本正隆君）是ヨリ該案ノ決議ヲ採リマス、初條ヨリ「第九條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ」ト云フ所迄ハ、御動議ガナカラ又ケレバ可定ト認メマス  
〔異議ナシ異議ナシ〕  
〔聲出レ〕

○議長（楠本正隆君）然ラバ可定ト認メマス、次ハ第十一條トアル所ニ委員ノ修正「壯丁」ヲ「者」ト改ム、御異議ガアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル〕  
○議長(楠木正隆君) ソレヨリ其以下ハ總テ可決ト認メテ、十一條ノ中ニ  
「ニテ、〔問一〕、〔文二〕、〔委員〕、〔修正〕」

○議長（楠本正隆君）是亦異議ナシト認メマス、其次ハ二十九條マデ御動議  
〔「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル〕

ガナケレバ、可定ト認メマス  
〔「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル〕

○議長(橋本正隆君) 次ハ三十三條後原秀之君ノ修正「三院制」三條ハ云  
フ修正  
〔「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル〕

○議長(楠本正隆君) 異議ナケレバ是亦修正ニ決シマス、其以下ハ御異議ナキヲ以テ悉ク可定ト認メマス、茲ニ於テ二讀會ヲ終リマシタ

○吉本栄吉君(六十四番)直ニ三讀會ヲ開ケレムニ一ツ  
〔賛成々々ノ聲起ル〕

ナイト認メマス、——朗讀ヲ省キ全部ヲ議題ニ供シマス  
徵兵令中改正追加法律案

○議長(楠本正隆君)「十名ノ賛成ヲ要シマス  
〔賛成々々ト呼フ者アリ〕

ミマス、古物取締法案、該案ハ貴族院ノ修正廻付案デス、全部ヲ議題ニ朗讀ヲ省イテ供シマス

○前川楨造君(百六十四番) 貴族院ノ修正ニハ段々感心ヲシナイ箇條モゴザイマスケレドモ、サウヤカモ一云フ程ナ大ナ利害ノ關係ハアリマセヌカラ、全部衆議院ニ於テ是認シタイト考ヘマス

〔賛成タクノ聲起ル〕

○議長(楠本正隆君) 全部ニ就イテ決議ヲ採リマス

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(楠本正隆君) 御異議ナキト認メテ、確定ヲ表シマス、次ハ第三

源威君

第三 陸奥國青森港ニ於テ露領浦鹽斯德港及西比利亞沿岸貿易ニ關スル船舶ノ出入及貨物積卸許可法律案(源威君外一名提出)

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

明治二十八年四月一日ヨリ陸奥國青森港ニ於テ露領浦鹽斯德港及西比利亞沿岸貿易ニ關スル帝國臣民所有ノ船舶ノ出入貨物ノ積卸ヲ許ス

但シ船舶ノ出入及貨物ノ積卸ニ關シテ稅關法及稅關規則ヲ適用ス

(源威君演壇ニ登ル)

○源威君(八番) 此案ハ過日敦賀港ノ時ニ於テ矢張委員ニ付託ノ分ニナツテ居リマシタガ、更ニ日程ニ登リマシタカラ聊カ理由ヲ述べテ置キマセウ、倘青森ノ港ハ固ヨリ諸君ノ御案内ノ通り積卸ヲ港ニスルニ就イテハ著シキ理由ハ數々述べル必要モナイノデゴザイマスガ、唯青森港ノ様子ヲ一ト通り述べマシテ、御贊成ヲ請フコトニ致シマス、倘テ青森港ハ港ニ入りマス所ノ港口モ隨分廣イ所デ、且又水ノ深サモ十分デアリマスカラ、數百ノ船舶ヲ是ニ置キマシテモ大船巨舶ヲ碇泊シマスニ便利ナル港デゴザイマス、加之東北鐵道ノ全通ヨリ、三陸地方ノ物産ハ北海及西比利亞地方ニ積出ス荷物、又其所ヨリ内地ニ送込ミマス所ノ荷物ノ聚散地トナリ、又奥羽鐵道ハ二十有哩モ開ケテ居ルコトアルカラ、秋田縣竝ニ弘前等ノ荷物モ隨分集ル所ノ場所デゴザイマス、其荷物ハドノ程出ルカト申シマスト、港ノ便利デアリ交通ノ便ナル所モ合セテ餘リ澤山出ルト云フ程デハナイ、即チ酒、味噌又ハ醤油竝ニ米等デアルガ、何ノタメニ港モ好ク交通モ便利ガ宜キニモ拘ラズ、西比利亞方面ニ積送ルコトが出來ヌ不便ガゴザイマシテ、日數モ費シ、手數モ掛リ、又費用モ澤山掛ルコトアリマスカラ、其良港ナリト云フ運輸ノ便利ノ宜シキ所モ先ヅ少數ト謂ハナケレバナラヌ、而シテ米ガドノ程カト申シマスト、陸奥灣

ト云フ灣中ヨリ出マスハ四十万石デアリマス、然レドモ青森ヨリ出マスノハ三十万石餘デアリマス、ソレガ陸奥灣ノ灣中ヨリ出マス、米油ハ矢張二十万石餘デアリマスカラ、之ヲ加ヘルト幾ド四十万石アリマス、其他酒ナリ味噌、醬油ナリ、是モ一ツカリ調ベマセヌケレドモ、二三万石ノモノハアルダラウト思ヒマス、斯ノ如クニ前申シマス通り、港ノ貞キニモ拘ラズ、運輸ノ交通ノ便ガ宜シイニモ拘ラズ、物ノ出來ナイト云フノハ、前ニモ申シマス通り不便ガアルカラ、此青森西比利亞ノ方面ニ向ヒマシテ輸出スル所ノ積卸ヲ致シマシタナラバ、當時ノ貨物ニ三倍四倍ノ貨物ハ必ズ集ルダラウト考ヘルノデゴザイマス、而シテ此所ニ積卸ヲ許シタ所ガ、別段ニ稅關ヲ設ケテ多クノ金圓ヲ費スト云フ憂ハナイ、何故ナレバ函館ヨリ此所ニ臨時ノ出張員ヲ置クモ可ナリ、又出張所ヲ設ケマシタ所ガ、僅ニ五六百圓モアツタナラバ、一年ヲ支ヘルコトガ出來ルデアラウト思ヒマス、何故ナレバ函館ノ出張所ニナツテ居ル所ノ釧路小樽等ニ就イテ見マスルト、七百圓八百圓デ一年賄ヒシ得ル所デアリマスカラ、ソレニ準ジマスルト、矢張青森ニ在フテモ五百圓カ六百圓デ足リヤウト思ヒマス、加之青森ニハ收稅署モ在ル所デゴザイマスカラ、此彼ノ西比利亞ノ鐵道モ全通スルト云フコトデアリマスカラ、然カ致シマスルト云フト、彼ノ浦鹽斯德ヨリ我邦ニ参リマス所ノ航路ハ、北海道ヲ除キマシテ青森ヨリ近イ所ハナイノデゴザイマス、然カシマスルト青森ヨリ浦鹽斯德マデ参リマス里敷ハドノ位アルカト云フト、僅ニ四百二十海里デアリマスカラ、先づ一番近イ所ニシテ、又港モ相當デアリマスカラ、浦鹽斯德ニデハナイ、西比利亞ノ鐵道モ全通致シマシテ、浦鹽斯德ノ益々盛大ニナツタ曉ニハ、青森ハ單ニ積卸等ヲ許可スルバカリデナク、開港場ニモシナケレバナラヌト信ズルノデアリマス、故ニ今ヨリ是ガ積卸ノ港ニナルヤウニ之ヲ許シマシタナラバ、今在ル所ノ貿易上ニ利益ヲ與ヘルノミナラズ、將來此貿易ヲ發達セシムルコトハ、實ニ疑フ所デハゴザイマセヌ、唯斯ノ如クアルナラバ、シタカラ、此案ヲ提出シテ、御贊成ヲ請フノデゴザイマスカラ、此案ヲ提出シテ、御贊成ヲ請フノデゴザイマスカラシテ、今ヨリ此青森ニ於キマシテ、西比利亞方面竝ニ浦鹽斯德ニ参リマス所ノ貨物ノ積卸ヲ許シマシタナラバ、大ニ利益ガアルダラウト思ヒマダセヌガ、是ハ世ノ所謂沿岸貿易トカ、沿海貿易トカ申スモノトハ異ナルノデゴザイマセウカ、是ガ第一ニ伺ヒタク、ソレカラ此明治二十二年ノ法律第二十號ト云フモノヲ以テ、特別輸出港ノ規則ト云フモノガ定マツテ居リマスガ、

此港ニハ即チ特別輸出港ノ規則ヲ適用セラル、ノデゴザイマセウカ、將タ是ハ適用シナイノデゴザイマセウカ、是ガ第二、ソレカラモウ一ツ伺ヒタイノ

ハ、是ニ「帝國臣民所有ノ船舶ノ出入貨物ノ積卸ヲ許ス」トゴザイマス、然ルニ今僅ニ五年ノ後ニ實施セラル、所ノ日英條約ノ第八條ニ依リマスト云フト「日本國皇帝陛下ノ版圖内ノ諸港ヘ日本國ノ船舶ヲ以テ適法ニ輸入シ若ハ輸入セラルヘキ總テノ物品ハ亦大不列顛國ノ船舶ヲ以テ同様ニ之ヲ右諸港ニ輸入スルコトヲ得」ト云フ箇條ガゴザイマスルガ、サウ致シテ見マスレバ、此

帝國臣民所有ノ船舶云々ト云フコトハ、條約ノ施行ニナラナイ間、即チ僅々四五年ノ間ノミヲ指スモノニシテ、此條約施行ノ曉ハ即チ此條約ニ依リテ殆ド開港場同様ノモノニ相成ルヤウニ本員ハ考ヘマスルガ、併シ此提出者ノ茲ニ「帝國臣民云々」ト云フ文字ヲ御入レニナリマシタノハ、長ク帝國臣民ノ所有船舶ニアラザレバ、此港ヲ出入スルコトハドウシテモ許サヌト云フ御考デゴザリマセウカ、此三箇條ヲ承リタイ

○源晟君(八番) 四十九番ノ御問ニ御答申シマスガ、第三ノ御答、第三ハ矢張提出者モ四十九番ノ御考ノ通ナノデ、ソレカラ第二ハ此但書ニ書イテアリマス通り、此所ノ取扱ハ矢張稅關法竝ニ稅關規則ニ從ツテ遣ル見込デゴザリマス、ソレカラ露西亞方面ニ於キマシテ、丁度浦鹽斯德——デナク西比利亞沿岸貿易ニ關スル、是ガ今ノ所ニ於キマシテハ、別段ニ露西亞ニ於キマシテ、此事ヲ禁ジテ居ルヤウニハ思ハナイデ居タノデゴザイマス

○佐藤忠望君(四十九番) 是ハ露西亞ニ於テ禁ジテ居ラヌヤウニ思フト云フ唯今ノ御答デゴザイマスガ、沿岸貿易ヲ許シテアル國ト云フモノハ、甚ダ少イヤウニ承知シテ居ルノデ、就中露西亞ノ如キハ決シテ沿岸貿易等ヲ他國ニ許シテアルト云フコトハ、未ダ曾テ聞キマセヌデゴザイマスガ、此露西亞ノ他國ニ許シテアルト云フコトハ、何カ御調ガアルノデゴザイマスカ

○源晟君(八番) 別段ニ深クハ調べマセヌケレドモ、常ニ此所ニ出入ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、此所ハ矢張浦鹽斯德ニ參リマシテ、ソレカラ其近邊ニ持運ブト云フ意ナノデアリマシテ、沿岸貿易ヲ許シテ居タカ、禁ジテ居タト云フ意味デハナイ、唯浦鹽斯德ニ之ヲ持ツテ參リマシテ、ソレカラ之ヲ近邊ニ配ルト云フ意味デゴザイマス

○佐藤忠望君(四十九番) 尚ホ伺ヒマス、サウ致シマスト、今日世上ニ申シマス所ノ沿岸貿易トハ少シ異ルノデゴザイマセウカ、サウシマスト同ジ西比利亞ノ中ノ甲ノ港ト、乙ノ港トノ間、又乙ノ港ヨリ丙ノ港ヘ貨物ヲ運搬シ、若クハ貿易スルト云フ意味デハナクレテ、彼ノ西比利亞ノ或ル一港カラ此青森ノ港ヘ貨物ヲ輸入シ、若クハ青森ヨリ彼ノ西比利亞ノ或一港ニ向テ貨物ヲ輸出スルト云フニ止マルコトデゴザイマスカ

○源晟君(八番) サウデス、何港ニ配ルト云フコトハナイ、唯浦鹽斯德ト云

○佐藤忠望君(四十九番) サウスルト、世ノ所謂沿岸貿易トハ異ナルノデゴ

ザイマスカ

○源晟君(八番) 普通ノ沿岸貿易トハ…餘リ此所ノ調ハソレマデハナイデス唯あすこヘ持ツテ行ツテ小サナ所ヘ配ルト云フヤウナ、普通ノ沿岸貿易ノヤウニ横濱カラ神戸ニ往キ、ソレカラ馬關ニ往クト云フヤウナコトデハナイ考デゴザリマス

○恒松隆慶君(七十番) 議長、七十番

(佐藤忠望君演壇ニ登ル)  
佐藤忠望君

○佐藤忠望君(四十九番) 私ハ本案ニハ反対ノ意見ヲ有スル者デゴザリマス、諸君、彼ノ條約ノ改正ハ未ダ半バナラザルノ今日デゴザリマスルガ故ニ、港ヲ開クト云フガ如キハ、宜シク今日慎重スペキ處デアルト云フコトヲ以テ、過日開港法案ヲ否決致シマシタル所ニ依リマスレバ、即チ本會ノ輿論ハ此今日ニ港ヲ開クト云フコトノ未ダ早シト云フコトヲ認メラレタモノデアラウト私ハ信ジマス、然ルニ此案ニ依リマスルト云フト、其名ハ開港トハゴザリマセヌガ、唯過日ノ開港法案ガ衣ヲ改メテ再ビ此處ニ現レタト申シテモ、宜シイコトデアラウト私ハ信ジマス、如何トナレバ此法案ニ依リマスルト云フト、唯僅ニ露西亞ノ浦鹽斯德、若クハ西比利亞ノ貿易ノミヲ用ヒル港デアラテ、決シテ他ノ開港案ト同一視スベキモノデナイト云フ御論モゴザリマセウケレドモ、先刻私ガ質問致シマシタ通り、日英條約第八

條ニ依リテ見マスルト云フト「日本國皇帝陛下ノ版圖内ノ諸港ヘ日本國ノ船舶ヲ以テ適法ニ輸入シ、若クハ輸入セラルヘキ總テノ物品ハ亦大不列顛國ノ船舶ヲ以テ同様ニ之ヲ右諸港ニ輸入スルコトヲ得」ト云フ箇條ガゴザリマス、此箇條ニ依リテ見マスレバ、此日本ノ船舶ニ依リテ他ノ外國ヨリ此港ニ輸入スル所ノモノハ、即チ又英國ノ船舶ニモノ之ヲ約サネバナラスト云フコトニナルデハゴザリマセヌカ、果シテサウ相成リマシタコトナラバ、獨リ英國ノミナラズ、最惠條款ニ依リマスレバ、又他ノ外國ニ此權利ニ得ラル、ト云フコトニ相成ルデゴザリマセウ、唯是ノミナラズ、此日英條約ニ依リマスト、沿海貿易モ亦許スコトニ相成ツテ居ル、斯ウ云フコトニ相成リマシタコトナラバ、此港ニハ獨リ英國ノミナラズ、他ノ諸外國ノ船舶モ亦開港場ト此港トノ間ヲ自由ニ交通スルコトニ成ルデアラウト、私ハ思フノデアラル、サウ致シテ見マスレバ、即チ彼ノ先キニ否決致シマシタ所ノ開港法案ノ衣ヲ改メテ、再ビ此處ニ現レタルモノデアルト云フコトハ、論ズルマデモナイコトデアラウト私ハ思フ、ノミナラズ此法案ニハ沿岸貿易ト云フコトガゴザリマスケレドモ、先ニ私ガ質問致シマシタ時分ニ、提出者ノ答ヘラレルノモ、此文字上カラ見マスレバ、世ノ所謂沿岸貿易ト何モ異ナルコトハアルマイト思フ、デ彼ノ他國ニ向テ未ダ沿海貿易ヲ許サムル所ノ西比利亞ニ、其沿岸貿易ニ關スル云々ト云フコトヲ、此處ニ定メマスルト云フコトモ、變

ナコトデハゴザリマスマイカ、到底是等ノコトハ實際行ハルベキモノノデアル  
マイト思フ、既ニ彼ノ開港法案ノ衣ヲ改メテ現レ出タモノデアルト云フコト

ガ

分リマスレバ、即チ開港法案ニ對シテハ多數ノ諸君ハ固ヨリ御不同意ノコ  
トデアルカラ、本案モ亦開港法案ト同様ニ否決セラレムコトヲ、私ハ希望致  
シテ止マヌノデゴザリマス

○小烟岩次郎君(二百八十一番) 今本案ヲ否決スルト云フノ說モ出マシタ  
ガ、此案ハ私ハ……

ガ

○議長(楠本正隆君) ヲレハ通告ヲナサラヌケレバ——通牒ガアリマス、通  
告ニ從フテ

マス

〔「贊成々々」ト呼フ者アリ〕

マス

○小烟岩次郎君(二百八十一番) 更ニ出シマス、委員ニ付託スルコトヲ出シ  
マス

マス

○議長(楠本正隆君) 恒松隆慶君

マス

マス、然リマスルニ門司港ニハ特別輸出港デゴザイマス、所ガ今日ノ景況ハ如何ナ譯アルカト申シマスルト、凡ソ下ノ關港ヲ出入リマスル所ノ輸出物品ノ高ハ金額一箇年四百万圓以上ニ達シテ居ルニ、又門司港ニ致シマシテモ今日ハ金五百万圓以上ニ達シテ居ル、ソレデ兩方合シマスルト、大凡一千萬圓ニ達シマスル所ノ港デゴザイマスルガ、不幸ニシテ斯ノ如キ兩方同一ナル港ニ致シテ、一ツハ朝鮮貿易ト特別港ヲ兼ネ、一ハ特別港ノミデゴザイマシテ、門司港ヨリ積出シマスルモノモ、朝鮮ニ向ヒマスルモノハ馬關ニ往テ改ヲ受ケナケレバナラスト云フヤウナ譯デ、ソレデ此一港同様ノ港ニシテ、斯ノ如キ二様ノ差別ニナシテ居リマスルノハ、實ニ兩港ノ不便申スマデモナイコトデアル、又獨リ兩港ノミデモゴザリマセヌ、此港ハ御案内ノ通り九州諸國及中國諸縣、此瀬戸内ノ諸縣、大阪以西ノ諸縣ハ皆此事ニ關係ヲ致ス場所デゴザイマシテ、實ニ西海ト山陽トノ咽喉ヲ扼スル所ノ場所デゴザイマスカラ、是ハ他ノ諸港ヨリモ追々提出ナシテ居リマスルヨリ、朝鮮支那印度露領沿海州ヲ限リマシテ、帝國臣民ノ持チマスル船ガ出入ヲ許ス云フコトハ、門司馬關ハ同一ノ處置ニナリタトイト云フコトデアル、目下此印度デゴザイマシテモ、露領沿海、朝鮮支那ノ各地方ニハ既ニ長崎神戸等ヲ經マシテ、先刻モ申シマスル通り、兩港合シテ一千万餘圓ノ出入ヲシテ居ル場合デアリマス、ソレデ今日ハ差當リマシテ、兩港ノ人民ノミナラズ、廣ク此事ニ關係致シマスルカラシテ、速ニ改正ヲ希望スルノ所以デゴザイマス

○佐藤忠望君(四十九番) 質問致シマス、此案ニ此支那ト云フコトガゴザイマスルガ、是ハ其支那ノ全部ヲ指シタモノデゴザイマスルカ、將タ近頃ノ占領地方ヲ指シマシタモノデゴザイマスルカ、是ヲ伺ヒタイ、ソレカラ又此印度ト云フノガゴザイマスルガ、同一ノ印度デモ、英吉利ノ領分ガアッテ、遠ク印度ト貿易ヲスルト云フコトニナリマシテハ、彼ノ印度ニ往クノ途中、新嘉坡ノ如キ、若クハ香港ノ如キハ、是モ亦印度ト同様ニ貿易ヲ求メテ參リマスルコトナラバ、矢張此香港新嘉坡ヘモ御許ニナル御見込デゴザイマスカ、印度ニ限シテ他ノ英領ニハ立寄ラスト云フ御見込デゴザイマスカ、之ヲ先づ第一ニ伺ヒマス

○福江角太郎君(二百八十九番) 御答致シマス、初ノ支那ト申シマスル所ハ、是マデ門司、下ノ關兩港ヨリ出マスルノハ、支那各港及香港等總テ出入ヲ致シテ居ル、又第二ノ御尋、印度ト申シマスル所ハ、唯今現ニ致シテ居リマスルノハ印度各地、安南、暹羅、其他大抵印度地方ニハ各港ニ遣シテ居ルノデ、是ハマア印度ト總稱致シタノデス

○佐藤忠望君(四十九番) 此前案ニ對シテモちよつと伺ヒマシテゴザイマスガ、是モ矢張彼ノ昨年明治二十六年法律二十號、則チ特別輸出港ノ規則ト云フモノヲ適用セラル、ノデゴザイマスカ、如何デゴザイマス、ソレカラ尙ホ此帝國臣民所有ノ船舶ト云フコトガゴザイマスガ、是ハ前ニモちよつと申上ゲマンシタガ、矢張前ノ案ト同様ノ御考テ、長ク此帝國臣民ノ船舶ニアラザレ

○福江角太郎君(二百八十九番) 第一ノ御尋デゴザイマスル所ノ法律ノコトハ、此中ニモ何ニモ書イテアリマス所ノ十六年ノ四十號ノ布告ニ依ルト云フ譯デゴザイマス、ソレカラ第二ハ帝國臣民、此事ハ既ニ馬關——下ノ關、門司港ノ如キハ、御案内ノ如ク先日ノ開港法案ノ中ニモ加ハシタモノデゴザイマシテ、此要地デゴザイマスレバ、此儘帝國臣民ノ貿易ダケヲ長ク保ツト云フ場合デハゴザイマスマイ、必ズ此條約ガ改正ニナリマシタ既ニハ、或ハ唯今ノ五港ニ次グベキ所ノ一大開港場トナルヤモ計ラレマセヌガ、先づ今日ハ目下ノ急斯ノ如ク支那、印度、露領唯今現ニ貿易ヲシテ居リマシテ、ソレヲ長崎ヤ神戸ニ寄り、ソレノニ寄シテ貿易ヲスル所ノ不自由ヲ目下ノ急ヲ救フト云フコトデ、此案ヲ提出シタダケデアリマス

○佐藤忠望君(四十九番) 尚ホ御尋致シマス、此特別輸出港ノ規則ノ適用セラル、ヤ否ヤト云フコトヲ、御尋致シマシタノニ、明治十六年ノ布告ヲ以テスルト云フコトヲ御答ニナリマシタガ、私ハソレヲ御尋スルノデハナイ、彼ノ特別輸出港ノ規則ニ依ルト云フト、輸出事業ニ使用スル所ノ船舶ハ、其使中沿海貿易ヲ爲スコトヲ得ズト云フ箇條ガゴザイマスノデ、此特別輸出港ノ規則ヲ適用ニナリマスレバ、矢張此輸出港規則ノ第四條ヲ適用サレテ居ルモノト承知致シマスルケレドモガ、是ヲ適用セヌト云フコトニ相成リマスルト、則チ此門司ト下ノ關トノ二港ニ於テ使用スル所ノ船舶ハ、沿海貿易ヲモ爲スト云フコトニナラウカト思フ、ソレ故伺シタノアリマス、此輸出港規則ヲ適用スルカ、ドウカト云フコトダケ、今一應承リタウゴザイマス

○福江角太郎君(二百八十九番) 私ノ——此所ニ持シテ居リマセヌカラ、能ク記憶シテ居マセヌガ、此特別輸出港規則デハナシ積デゴザイマス、其後ニ出マシタ所ノ規則ニ依ルト云フ積デアリマス、則チ朝鮮貿易港ナント申シマスルモノハ馬關其他ニ許サタレタモノガアリマス、ソレガ即チ十六年ノ四十年ノ記憶シテ居マセヌガ、此特別輸出港規則デハナシ積デゴザイマス、其項ニ依シテヤルト云フ所ノ趣意デゴザイマス

○佐藤忠望君(四十九番) 尚ホ今度ハ政府委員ニ少々伺ヒタイ、此門司ト下ノ關トノ二港ハ、國防上則チ必要ナル港ト認メラレテ居ルノデゴザイマセウガ、ドウ云フ御考デゴザイマスカちよつと承リタイ

○議長(楠本正隆君) 前ノ案ハ既ニ委員付託ニ決シマシタガ、是モ同ジク「同様々々」ト呼フ者アリ又「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 異議ガナイト認メマス、次ハ第五ニ移リマス、醫藥分業ノ件——小室重弘君

## 第五 案(小室重弘君外七名提出)

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

明治二十二年法律第十號附則第四十二條第一項ヲ左ノ通改正ス

「醫師ハ」ノ下ニ「當分」二字ヲ加ヘ尙ホ左ノ但書ヲ加フ但シ内務大臣ハ適當ト認ムル地ニ就キ明治二十九年一月一日ヨリ逐次醫師ノ調剤ヲ禁止

ス

(小室重弘君演壇ニ登ル)

○小室重弘君(九十八番) 諸君、私共同志者ノ者カラ提出シテゴザイマス明治二十二年法律第十號中改正法律案、是ハ誠ニ簡單ナ議案デゴザイマシテ、僅ニ字ヲ加ヘ但書ヲ附ケルニ過ギナイモノデゴザイマス、併ナガラ其關係スル所ハ頗ノ大ナルモノデアッテ、或ハ冗長ニ渉ルカ知レマセヌガ、一ト通リ提出ノ趣意ダケハ述べサセルコトヲ許シテ御貴ヒ申シタイ、諸君、此議場ニアッテハ前ニ漢法醫ノ繼續問題トカ云フヤウナ保守的ノ守舊主義ヲ帶ビタ議案ガ、二ツ三ツ出タコトガアッタ、是等ハ諸君ノ明ヲ以テ此議場デ仆レテ仕舞フタコトハ、誠ニ當院ガ進歩主義ヲ以テ充チテ居ルト云フコトヲ、私共ハ賀スルデゴザイマス、サウシテ此最モ進歩的ノ議論ト言ヒマシタナラバ、此法律第十號ノ改正案ノ如キモノハ、私ハ凡テノ議案中最モ進歩的ノモノデアルト信ジテ疑ヒマセヌデス、ソレ故ニ守舊主義ヲ取ル人ハ知ラヌコト、苟モ文明ノ潮流ニ從ヒ、我帝國ヲシテ文明ノ域ニ進マシメント云フコトノ主義ヲ持テ居ル人ハ、私ハ敢テ反對ヲスルコトハ出來ナカラウト思フ(「のーのー」ト呼フ者アリ)併ナガラ此議案ニ就イテハ誤解ヲサレテ居ル者ガアルト思フ、世ノ中ノ人ノ甚ダ誤マラレテアルコトガアルト思フ、何ゼナラバ此議案ガ大層ナル大問題ニナッテ居ルテ大勢ノ人ミガ種々ニ攻究ヲシテ居ルト云フコトヲ私ハ聞イテ居ル、又外側ノ者カラハ一種ノ運動者ガアッテ非常ナ運動ヲ始メテ吾ミガ提出シタ議案ガ意外ニモ大ニ此議場ノ内ニ一大問題トナッテ居ルト云フコトヲ聞イタノデゴザイマスルガ、ソレハ諸君、私共考ヘルト、此議論ハ甚ダ明白ナ、甚ダ簡短ナ道理デアルト考ヘルデス、試ニ其說ヲ述ベテ見マセウ、第一諸君、此議案ハ嘗テ第二期ノ議會、及第四期ノ議會ニモ提出サレタコトガゴザイマス、併ナガラ其當時ニアッテ未ダ議場ニ上ラズシテ解散ニナリ、或ハ閉會ニナッタタメニ、討論サレナカッタト思ヒマスガ、二十六年ノ十二月ニ至テ第五期ノ議會ニ於テ始テ討論ヲサレタノデゴザイマス、ソレデ詰リ此議案ノ要旨ト云フモノハ醫藥分業ト云フ議論、ソレヲ如何ニシテ行フ、ソレハ即チ限地分業、地ヲ限シテ分業スルト云フコト、ソレダケニ過ギナイコトゴザイマス、此席ニ長谷川泰君ト云フヤウナ論者ガアリマンタナラバ、甚ダ愉快デアルデアラウト考ヘマスガ、今年ハ居ラレマセヌカラ、他ノ反對論者ト鬭ハナケレバナラカ知レマセヌケレドモ、全體斯ウ云フ學問ノ上カラ、學術ノ上カラ議論ヲスルコト、世ノ中ノ文

明ノ機關ヲ發達セシムルコトニ就イテ、議論ヲスルコトハ諸君ガ公平ナル考持ツテ御觀察ナサレタナラバ、他ニ牽連サレルコトナク、巍然トシテ獨立シタル考持ツテ、御觀察下サレタナラバ、私ハ是ヲ決スルコトハたんとむつかいコトデハナカラウト思ヒマス、我邦ニハ今日マデドウ云フ方針ヲ取テ此醫者ト藥劑ト云フコトニ就イテ、進ンデ來テ居ルカト言ヘバ、此歴史一大日本ノ是マデノ沿革ニ就イテ申シマシタナラバ、例ヘバ明治六年ノ年ニ大學校ノ中ニ、一ノ此藥學科ト云フモノヲ設ケテ、則チ藥ト云フ問題ニ就イテ

ノ獨立ノ途ヲ開イテ來タト云フコト、又七年ニ至テハもつと急激ナ方針ヲ取テ來タ、則チ七年ニ醫制ト云フヤウナ一ツノ政府ノ作ツタ制裁ノ中ニ、醫者ニ藥ヲ賣ラセナイト云フコトヲ制定シテアルモノガアル、八年ニ至テハ藥舖開業試驗規則ト云フモノヲ作り、十五年ニハ各、此藥劑學校ニ就イテ普通ナル法律ヲ作リ、又十九年ニ至テハ日本藥局法ヲ制定シ、二十二年三月ニ則チ此法律第十號ト云フモノガ出來タノデゴザイマス、サウ云フ結果デアリマスカラ、是マデ藥劑ト云フコトヲ獨立サセルト云フ目的ヲ以テ、段々進メテ參ツタ結果ガ今日ニナッテ如何ニナッテ居ルカト言ヘバ、藥劑ヲ以テ立ツテ居ル所ノモノ、則チ藥劑師トカ云フヤウナ者ハ、殆ド三千有餘ノ人が出來テ居ル、此今マデノ結果ニ依クテサウ云フヤウニナッテ居ル、又是カラ將來ニ段々起ツテ來ル所ノ藥劑師ト云フ者、藥學校ノ生徒、則チ大學デゴザイマストカ、或ハ各地方ノ官立若クハ私立ニアル所ノ藥學校ノ生徒ハ年々ニ殖エテ參ルヤウニナッテ居ルノデゴザイマス、サウ云フ様ニ法律第十號ト云フモノガ出來テ居テ、世ノ中ニ左様ニ實行セラレテ居ルニモ拘ラズ、諸君、此第四十三條ノ附則ト云フモノヲ設ケテ、第一條カラ四十二條マデ規定シタ所ノ法律——第十號ノ法律ガ四十三條ノ一箇條ニ依クテ前ノ事ヲ皆取消サレテ仕舞ツタ、則チ右ノ手テ建築サレタ者ガ、左ノ手テ一擲リニぶつこハサレテ仕舞ツタ、諸君ハソレヲドウ云フコトデアルカ、法律第十號ノ重ナル箇條ヲ申シマスレバ、藥劑師ト云フモノヲ一ツ立テ、藥劑師ト云フ者ハ、藥局ヲ開設シテ、醫者ノ處方箋ニ依クテ藥劑ヲ調合スル者デアル、斯ウ云フ者ガ、此日本ノ社會ノ中ニ一ノ獨立ノ業トシテ立ツテ居ルト云フコトニナッテ居ル、又藥劑師ニアラザレバ、藥局ヲ設置スルコトガ得ズト云フヤウナ風聞ガアル、若クハ此醫者ノ處方箋ト云フモノヲ藥劑師ガ、之ヲ受取シテ、十人ラズシテ解散ニナリ、或ハ閉會ニナッタタメニ、討論サレナカッタト思ヒマスガ、二十六年ノ十二月ニ至テ第五期ノ議會ニ於テ始テ討論ヲサレタノデゴザイマス、ソレデ詰リ此議案ノ要旨ト云フモノハ醫藥分業ト云フ議論、ソレヲ如何ニシテ行フ、ソレハ即チ限地分業、地ヲ限シテ分業スルト云フコト、ソレダケニ過ギナイコトゴザイマス、此席ニ長谷川泰君ト云フヤウナ論者ガアリマンタナラバ、甚ダ愉快デアルデアラウト考ヘマスガ、今年ハ居ラレマセヌカラ、他ノ反對論者ト鬭ハナケレバナラカ知レマセヌケレドモ、全體斯ウ云フ學問ノ上カラ、學術ノ上カラ議論ヲスルコト、世ノ中ノ文

ラ、附則ニ斯ウ云フコトヲ以テ來テ居ル附則ナルモノ、性質ト云フモノハ、私共ハ此法律家デナイカラ知ラヌケレドモ、附則ト云フモノハドウ云フモノデアルカト云フト、正條ノ中ニ加ヘテ永久ニ行クテ往ク譯デハナイ、此法律ヲ與ヘテアルト云フコトハ何デアルカト云フト、是ハ永久ニ行フト云フ目的デナカツタ、ソレデ當分ノ内ト云フ、當分ト云フ字サヘ付ケテアツタノデゴザイマセウ、諸君、是カラ少シ議論ヲ進メテ往カナケレバナラナイト思フガ、一體醫藥兼業トカ、醫藥分業トカ云フコトガ、世ノ中ニ普通ニ唱ヘラレテ居ルガ、兼業ト云フコトハドウ云フコトデアルカ知リマセヌガ、今日ノ醫者ハ醫藥兼業デアル、是ガ甚ダ便利デアルト唱ヘラレル、併ナガラ兼業ト云フコトニ就イテハ、此論據ト云フモノハ實ニ薄弱ナモノデアル、此論據ハ忽チ倒レルデアラウト思フ、ナゼナレバ藥ニ就イテノ業ト云フモノハ、醫者ガ持ツテ居ルノデスカ、又醫者ハ此等ヲ作ル所ノ業務ヲ執ルベキ資格ヲ持ツテ居ルカト言ヒマスレバ、醫者ハ此資格ガナイト言ハナケレバナラヌ、兼業ト云フ業ヲ兼ネテヤルナレバ、醫者其者ガ自ラ此藥劑ニ就イテ有シテ居ラナケレバナラナイ、國家ガ法律ノ上カラ認メナケレバナラヌダケノ資格ヲ——藥劑的ノ資格ヲ醫者ガ持ツテ居ラナケレバナラヌ、醫者ハ其資格ヲ持ツテ居マスカト云フコトヲ滿場ノ諸君ニ聞イタナラバ、脇坂行三君ノ如キ反對論者ト云ツテモ、此事ニ就イテハ何ト云フ答ヲスルカ、聞イテ見タイノデゴザリマス、諸君、此藥劑ノ專業者ハドウ云フ學問ヲ以テ藥劑師ニナルカト言ツタナラバ、製藥學デアルトカ、或ハ製藥化學デアルトカ、礦物學デアルトカ、若クハ調合ノ學問トカ、サウ云フ所ノ藥劑ニ關スル所ノ總テノ智識ヲ學ビ得テ、サウシテ此業務ヲ執ルダケノ資格ヲ備ヘテ、而シテ後ニノスカテ、御覽ナサイマシ、醫者ノ試驗ヲ受ケル科目、或ハ全國ノ各醫學校藥劑師ト云フ者ガ出來テ參ルノガ、醫者ノ藥劑的智識ト云フモノハドウデゴザイマス、醫者ハドレダケノ段階ヲ履ンデ、ドレダケノ事柄ヲ備ヘテ居ルカト言ツタナラバ、皆サンガ日本ノ醫者ノ中心デアル帝國ノ醫科大學ニ御出ナスカテ、御覽ナサイマシ、醫者ノ試驗ヲ受ケル科目、或ハ全國ノ各醫學校抓ニ於キマスル所ノ醫者ノ科目ニ就イテ、藥劑ニ關シテドウ云フ物ガアルカト言ツタナラバ、是等ノ物ハ一モナイデアラウ、內務省ノ定ムル所ノ醫者ノ免許規則デゴザイマシテモ、藥劑ニ關スルコトハナイデアラウ、何トナレバ醫者ハ藥劑ノコトニ關スル智識ト云フモノヲ持ツテ居ナクシテモ、醫者ハ此事ガ出來ルノデアル、則チ此藥ト云フモノ——醫者ト云フ者ハ則チ藥ヲ與ヘルト云フコトハ、病ヲ見ルト云フコトノ診斷學ト云フモノト、藥劑ノ學問ト云フモノハ別々ニナクシテ居リマシテ、ソレデ差支ナイノデアラテ、今日ノ醫者ノ學ブ所ノ藥物學ト云フモノハ、何デアルカト云ヘバ、アレハ藥劑學ニ關スル所ノ藥學デハナクシテ、藥效學トモ言フベキ一ノ藥ノ效能ニ就イテノ學問ヲスルノデアル、茲ニ一杯ノあろーるほるむガアルナラバ、此あろーるほる

ハ何ダト言フト、醫者ハ唯是ハ麻醉剤ニ用ヒルモノデアル、ト云フコトデアフテ、此あろーるほるむナルモノハ、ドウシテ作ッタ、ドウ云フ學問カラ出來タモノデアル、是ガドウ云フコトニ用ヒルモノデアルカ、如何ニ配剤スルモノデアルカト云フコトニ就キマシテハ、是ハ醫者ノ與カル所デハナイ、サウ云フコトハ決シテ醫者ノ學科ノ中ニ設ケテナリ、今日ノ法律ノ中ニサウ云フコトハシテナリ、然ラバ今ノ醫者ナルモノガ、此藥剤ノ智識ガナイト云フコトハ明アゴザイマス、又是ハサウ云フコトデ差支ナイノデアリマスル、諸君、ソレダカラ醫者ノ藥局ニアル所ノ藥剤ト云フモノト、藥劑師ナリ專門者ガ持ッテ居ル所ノモノトハ、如何ニ其優劣ガアルカ、又醫者ガ安イ藥ヲ買フテ來テカラニ、之ヲ得意ノ患者ニ與ヘルヤウナコトモゴザイマセウシ、又此藥ヲ配合スレバ種々ナ變ツタ効ヲ起シテ來ルト云フヤウナコトヤ、或ハ此頃ノ陳腐ニ屬シテ居ルモノヲ與ヘルト云フヤウナ、此種々ナ事柄ガ専門者デナイカラ仕方ガナイ、今日ノ現在ノ有様ニ就イテ、然ラバドウ云フ有様ニナッテ居ルカト言ヘバ、吾ミト諸君ト共ニ此日本社會ノ人民ノ生命ヲ誰ニ委ネテアルカト言ヘバ、今日ノ醫者ニ委ネテアル、ソレハ危險極マル話デアル、ナゼナレバ病ニ罹ヲテ醫者ニ見テ貰フテ、ソレカラ醫者ガ——死ンダ時ニ死亡深ク考ヘナケレバナラスト思ヒマス、隨分醫者ガ藥剤ヲ誤ツタタメニ死ンダト云フヤウナコトハ、幾ラモ例ガアルノデゴザイマセウガ、ソンナ例ヲく何ニモ其外ニ喙ヲ容レル者ガナイヤウニナッテ居ル、私共ハ此事ニ就イテハ敵ニ御返禮ト云フひやか一ガアル、是ハ川柳子ノ罪デハナイ、川柳子ハ醫藥分業ト云フコトヲヤラナケレバナラスト云フコトヲ、千古ノ前ニ於テ言ツタノデアラウト思フ、併ナガラ諸君ハ何故斯様ニナッテ居ルデアラウカ、何コトニ就イテ、検出ヲスルノ道ガナイト云フコトハ、餘程吾ミガ恐レナケレバナラヌコトデアラウト思ヒマス、原告人ト被告人ト、同等ノ位置ニ立ツテ、如ノ誤カラ、裁判ガ起ルト云フコトデアリマス、我邦ハサウ云フモノハアルカト言ウタラ、殆ドナイト言ツテモ差支ナイ、併ナガラ此發見ヲスル道ガナイ、ソレガタメニ日本人ノ御命ハ餘程危イ境遇ニ居ルト言ハナケレバナラヌ、併ナガラ是ダケノ道理ガアルニモ拘ラズ、一箇年二百名以上ノ藥ノ誤、或ハ醫者ノ診察何ニシテ此檢出ガ出來ルデゴザリマセウカ、恐クハ出來ナイデアラウ、獨逸ノ如キハ歐羅巴大陸ニ於テ、又此世界ニ於テ最モ醫學ノ進ンダ所、最モ藥學ノ進ンダ所デアルニモ拘ラズ、一箇年二百名以上ノ藥ノ誤、或ハ醫者ノ診察

ヲ以テ此問題ニ反對ヲスルト云フコトデゴザイマス、私ノ所ニモ東京醫會會長佐々木東洋ト云フ者ガ斯ウ云フモノヲ寄越シテ居ル、斯ノ如キモノガ來テ居リマシテ、是ニ依テ吾々ノ論ニ反對ヲスルコトガ出來ルカト言フタナラバ、概略ハ僕等ハ此議論ニ就イテ駁撃ヲ與ヘナケレバナラヌト思ヒマス（藥劑師カラハドウデス）ト呼フ者アリ）諸君、今日ニ於テ（「簡單々々」）ト呼フ者アリ）醫者ガ斯ノ如ク、此（「簡單々々」）ト呼フ者アリ）斯ノ如ク怒ツテ歩クト云フコトハ、是ハ學問ノ問題デナク、文明ノ問題デモナク、社會ヲ待ツテヤルノデナク、却テ彼等ガ頗ノ問題デアラウ、自分等が經濟ノ上ニ關シテ算盤ノ上ニ係シテ、不利益ノコトガアルト云フコトニ相違ナイ、御覽ナサイ、今ノ醫者ガ君ハ幾許ニナッタ、百圓ニナッタカ、八十圓ニナッタカ云フテ、賣藥ノ計算ハスルガ、其計算ハ何ヲ土臺ニシタノデアルカ、五圓ノ土臺ヲ本ニシテ居ルノデアル、藥ハ九層倍ト云フガ、九層倍ドコロデハナイ、二十倍ニモ二十五層倍モ高イモノヲ賣リ歩イテ居ル、今日ノ醫者ガ私ハ何百圓施藥ヲシタカ、施療ヲシタカ言ツテ、慈善家ハ已レ一人ガ、天下ノ道德者ハこちらノ專賣特許ダト云フ顏ヲシテ居ラレルガ、彼等ノ人ハ高イ藥ヲ賣リマシテネ、此高イ藥ニ診察料ヲ籠メテ計算シタナラバ、東京府ノ一年ノ窮民救助費ガ六七十萬圓ナケレバナラヌト云フヤウナ議論ガ出來ルカ知ラヌ、御覽ナサイ、日本中デ一番良イ藥ノアル一番盛ナルモノハ何カト言フタナレバ、大學病院デアル、此大學病院ガ一番良イ藥ガ幾ラカト云フト、一日分僅ニ壹錢カ或ハ八厘、ソレバカリノ安イ藥デアルノニ、開業醫者ノ所ニ往キマスルト、八錢トカ十錢トカ云フ高イ錢ヲ取ラレテ居ルノデゴザイマス、茲ニ於テ反對論者ガ言フコトガアル、醫藥分業ハ宜イカ知ラヌガ、醫藥分業ヲヤッタナレバ、貧民ガ困ル、貧民ガ困ルト云フコトハ、是ハ一種ノ口實ト言ッテ宜シイ、一種ノこじつけタ議論ト言ツテ宜シノデゴザイマス、何トナレバ八錢ノ錢ヲ拂ツテ、藥ト診察料ト共ニ醫者ノ所ヘ遣ルトスレバ、ドウナリマスカ、是ヲ半分ニ別ケタナラバ、ドウナリマスカト云フト、四錢ニナリマ生ジテ、公共ノ入費ヲ六七十萬圓モ東京ガ拂ハナケレバナラヌト云フヤウナイ藥ヲ買フト云フコトニナラバ、則チ貧民ガ却ツテ是ガタメニ助カルト言ハナケレバナラヌ、而シテ若シモ醫藥分業ヲシタラ、天下ニ澤山ナ貧民ガノタメニ、其國ガ滅亡シテ仕舞ハナケレバナラナイ筈ダガ、滅ビマシタカ、減ビマセヌカ、滅ビヤシナイ、却テ文明ノ恩澤ヲ受ケテ居リマス者ガ澤山アル道理デゴザイマス、諸君、私共ハ長ク言ヒタクハナイ、長ク言ヒタクハナイガ、反對論者ガ擧出シテ來ル所ノ反對論ダケハ、駁撃シテ置カナケレハナラヌノデアル、今此藥ニ向ツテハ、例ヘバ最低ノ價額ハ幾許取ルト云フコトハ、是ヲ實行スル曉ハ命令ヲ以テ是ヲ定メルコトが出來ル、最低額ヲ定メル

新條例トカ、藥價令ト云フモノヲ定メテ參リマシテ、而シテ是ニ依ツテヤツテ往ク時分ニハ、貧民ガ困ルト云フヤウナ論ハ實ニ空論ト言ハナケレバナラヌ、ソンナラバ漢方醫ハ治外法權ニスルト云フ議論ヲ擧出シタ或ル所デ長谷川泰君ガサウ云フコトヲ言フタコトガアル、私共ガ見ル所デハ、所謂漢方醫何クニアル、是ハ私ガ漢方醫繼續問題ヲ攻擊シタ言葉デアル、吾々ノ眼中ニアルモノハ、日本ノ醫者ニ對シテ、日本藥局法ガ備ヘテアル藥ニ對シテ、此事ヲ行フノデゴザイマシテ、其以外ニアルモノハ吾々ノ關スル所デハナイ、ハ恐ク反對論者モ左様ナ反對論ヲ吐クコトハ出來マイ、何トナレバ此議場ハ漢方醫ガアルト云フコトヲ認メテハ居ラス、縱シ此者ガゴザイマシテモ、譯デゴザイマスカラ、決シテ漢方醫ガ治外法權ダト云フヤウナ論ニ至ツテハ恐ク反對論者モ左様ナ反對論ヲ吐クコトハ出來マイ、何トナレバ此議場ノ、一番仕舞ニ何ト云フコトガ書イテゴザイマスカ、近年歐羅巴ノ各都府デ緩漫ナ藥、或ハ毒ニモ藥ニモナラヌヤウナモノハ、決シテ措イテ問フマデモナイコトデアルノデゴザイマス、此一番東京醫會トカ云フモノガ出マシタモノハ、一一番仕舞ニ何ト云フコトヲ書イタ者ガゴザイマセウカ、何處ニサウ云フコトヲ書イテゴザイマスカ、近年歐羅巴ノ各都府デハ醫藥分業ト云フコトハ惡ルイト云フテ、新聞ヤ何カミ書イテ居ルト云フ、成程歐羅巴ノ新聞ヤ何カヲ見ナイ人ハサウカ知ラヌト思フテ考ヘル人ガアルカモ知ラヌガ、何處ニサウ云フコトヲ話スト云フノハ、無禮失敬ノ甚シキモノト私共ハ考ヘテ居ル、諸君、今之ヲ行ヒマスニ就イテハ、議論ハ幾ラデモ出來ルノデゴザイマスガ、立法部ノ諸君トシテ、此事ヲ慎重ニ議サナケレバナラヌト云フノ向ツテ斯ノ如キコトヲ話スト云フノハ、無禮失敬ノ甚シキモノト私共ハ考ヘテ居ル、諸君、今之ヲ行ヒマスニ就イテハ、議論ハ幾ラデモ出來ルノデゴザイマスガ、立法部ノ諸君トシテ、此事ヲ慎重ニ議サナケレバナラヌト云フノハ、即チ是ガ社會ニ實行サル、時ニ方ツテ、如何ニシテナシテ往クカ、是ハ誠實誠意ニ吾々ハ考ヘナケレバナラヌ責任ノアルモノト信ジマスカラ、今日之ヲ實行スルニ對シテ、如何ニ難イカ、之ヲ實行スルニ就イテ、ドウ云フ方法ヲ以テヤルカト云フコトハ、必要ナ問題ニナッタ居リマス、勿論習慣ヲシテ段々ニ改メテ往クト云フコトハ、一舉ニシテ爲スベキコトデハナインデ、即チ我邦ガ文明東漸ノ潮流ヲ迎ヘテ、今日マデ幾多ノ習慣ヲ改メタノデ、積ムニ歲月ヲ以テシ重ヌルニ歲月ヲ以テシテ、僅ニ今日ニ至ツタノデアル、最モ文明進歩ノ道ニ適フ此分業ノ事ノ如キニ至ツテモ、亦サウデナケレバナラヌ、急激ニ之ヲ全國ニ行フト云フコトハ、勿論出來ナイコトデゴザリマセウ、併ナガラ藥劑師ノ備ツテ居ル、又醫者モソレダケ進ミマシタ所ノ東京市ト云フヤウナ此內務大臣ガ認メテ行フテモ宜シト認メテアル所ニ向ツテハ之ヲ行フノハ私ハ今日ニ於テ既ニ其機ハ熟シテ居ルモノト思ヒマス、政府ガ此法律ヲ造ツテ今日マデ至ル間、醫藥分業ノ方針ヲ以テ茲ニ至ツタノデアリマシテ、唯時機ガ遲イカラ、今日マデ行レテ居ナイノデ、今日ニ至ツテハ之ヲ行フニ就イテたんと差支ヘルコトハナイト思フノデアリマス、大ナル医者デゴザイマスレバ、藥局ヲ設ケテ、爰ニ藥劑師ヲ置キサヘスレバ宜シ

イ、もつと小サイナレバ、五軒六軒ノ人ガ集ツテ、一ツノ薬局ヲ設ケテモ差支ナカラウト思ヒマス、又急病人ヲ救フニ至ッテハ、醫者ノ携帶ノ藥ト云フモノハ、歐羅巴ノ分業國デモソレヲ持ッテ居ルコトヲ許シテアルト云フコトニナッテ居ル、此等ノ諸點ヲ以テ、一通りノ説明トシテ置キマシテ、後ハ諸君ノ御質問ニ依ッテ、答辯致サウト思フノデゴザイマス

○木暮武太夫君(百七十七番) 大分藥剤ノ效能ヲ御述デゴザリマシタガ、吾吾ノ考ヘル所ニ依リマスレバ……

○小室重弘君(九十八番) 君ノ御考ヲ述ベルノデハ討論デセウ

○木暮武太夫君(百七十七番) ちよっと聞クノデス、醫藥分業ト云フコトハ左程ニ害ハナイヤウニ考ヘテ居ル、害ハナイノミナラズ、大ニ一般ニ利益ヲ與ヘテ居ルヤウニ見エル、然ルニ提出者ハ之ヲ改正セント云フノハ何カ大ナル不都合ヲ認メテ居ラネバナラヌ、是ハ多分醫藥ノ兼業ニナリマスレバ、調劑上危險デアルト云フコトノヤウニモ承ッテ居リマスガ、果シテ危險デアレバ、果シテ今マデドウ云フ 危險ガアッタト云フコトノ實例ヲ示シテ戴キタイ、醫者ガ藥ヲ調合スルタメニ——誤ツタ調合ノ仕方ヲシタト云フコトガアレバ、ドウ云フコトガアルト云フコトヲ承リタイ、モウ一つハ漢方醫ニ對スルコトデアル、漢方醫ニ對シマシテハ如何ナルコトヲ以テ致シマスルカ、藥劑師ハ日本藥局法ノ……(質問ハ止メテ討論ヲシ給ヘ)ト呼フ者アリ)然ルニ此漢方醫ナルモノハ此制度デアレバ、如何ナル處置ヲ爲サルノデアルカ、漢方醫ハ眼中ニ置カナイト仰シヤルケレドモ、眼中ニ置カナイデモ、現ニ在レバ置カナケレバナラナイガ、如何ニ之ニ對シテハ處置ヲ爲サルカ

○小室重弘君(九十八番) 君ノ御問ニナリマシタコトハ、既ニ前ニ述ベタノデアリマスカラ、御答ヲスル必要ハナイノデアリマス

○木暮武太夫君(百七十七番) 分ラナイカラ御尋スルノデ、今一應伺ヒタイガ、御答ガ出來ナケレバソレデ宜シ

○中村彌六君(百六十一番) 私モ提出者ノ一人デアリマスカラ、御答ヲ致シマス

(「討論スベシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ通告ニ從ツテ——脇坂行三君

○脇坂行三君(三十五番) 私ハ少シ質問致シタイデスガ、直チニ討論デスカ、

出来マセヌカ

○脇坂行三君(三十五番) 私ハ唯今ノ御提出ニナリマシタ法律十號ノ改正案ニハ反対ノ意見ヲ持ッテ居リマスル者デゴザイマスルガ、實ハ私ニ於キマシテハ此常ニ當壇ヲ瀆シマシテ、然シテ其總テノ説ヲ陳述致シマシテ、サウニテ以テ自分ノ意見ヲ通サウト云フ考ハ、是マデ持チマセズ、成ルベク諸君ノ御差出ニナリマシタ議案ニ對シマシテハ、慎重ニ承ッテ居リマシテ、起立ニ自分ノ良心ノアル所ハ之ニ就イテ表シヤウト云フ考デ居リマシタ(ソレナラ反対セヌガ宜イデハナイカ)ト呼フ者アリ)然ルニ此改正案ガ出マシタニ就イテハ、私ハドウモ一言自分ノ考ヘマスルコトヲ陳ベマシテ、諸君ノ御賢考ヲ煩ハサナケレバナラヌコトニ至リマシタノハ、常ニ本員ガ思フテ居リマスルコトニ反シマシタノハ、實ニ遺憾ト存ジマス譯ニアリマス、暫ク御清聴ヲ煩シタイト思ヒマスルデアリマス、此法律第十號ヲ御改正ニナリマスルコトニ就キマシテハ、此醫者ノ分業ト云フコトニ就キマシテハ、私ハ絕對的ニ惡ルイト云フコトヲ言フノデハゴザイマセヌノデアル、絶體的ニ惡ルイ善イト云フコトハ述ベルノデハゴザイマセヌケレドモ、此法律ヲ以テ之ヲ禁令致シマスルコトハ此事ニ就キマシテハ私ハ其反対ヲセザルヲ得ヌノデアリマス(「だいなましいモ賣ラヌガ宜イ」ト呼フ者アリ)就キマシテハ、私ハ簡單ニ此所ニ述ベヤウト思ヒマスルコトハ、三ツノ要件ヲ述ベヤウト思フノデアル、デ法律改正ヲ以テ醫藥分業ヲナスハ策ノ得タルモノニアラズト云フ趣意デゴザイマス、モウ一つハ治療上ノ不便ト云フコトヲ述ベタイノデアリマス、モ

ウ一箇條ハ衛生上ノ關係ヲ述ベタイト思フノデゴザリマス、此三要件ヲ簡單ニ述ベマシテ、諸君ノ御賢考ヲ仰ギタイト思フノデアリマス、本案ニ就キマシテワレく御提出者ナリ又御賛成者ニ於キマシテモ、常ニ尊重致シマス所ノ先輩諸君ノ有力ナル人々ガ御記名ニナッテ居ルコトヲ得マセヌ所ニ榮吉君(サウデモナイサ)ト呼フ者アリ)諸君ガ此案ニ反対致シマシタ所ガ、遂ニ吾ミノ意思ガ貫徹致シマセヌカモ知レマセヌ(「のーーー」ト呼フ者アリ)併ナガラ良心ニ誓ツテ國家ノ不利益ト思フコトハ述ベザルヲ得マセヌノデゴザイマス(「自分一個ノタメニダラウ」ト呼フ者アリ)諸君ガ此御出シニナリマシタル所ノ此案デゴザリマスガ、是ニ就キマシテ先づ其十分述べトハゴザリマスケレドモ、先づ簡單ニ述ベマスレバ、私ハ此法律ト云フモノハ先達テ漢方醫繼續問題ニ際シマシテ、大津淳一郎君ガ御述ニナリマシタコトガゴザリマスルガ、法律ト云フモノハ——私ハ漢方醫繼續問題ニハ反対デゴザリマシタ(矢張法律ヲ以テシタノダ)ト呼フ者アリ)併ナガラ大津淳一郎君ノ御述ニナリマシタ所ヲ承リマスルト云フト、斯ウ云フコトヲ申サレマシタ(法律ト云フモノハ實地ニ當籍ルヤウニシナケレバナラヌ俗世界ハ俗世界ヲ支配スルダケノモノヲ施行セヌケレバ國家ノタメニナラヌ)ト云フコトヲ御述ニナリマシタ、私ハ此言論ニ對シマシテハ、漢方醫繼續問題ニ對シテハ、反対ニモ拘ラズ、御尤ノ御説ト其時ニ感シテ居ツタ位ノコトデアリマス、ソレデ此案ト云フモノハ徒ニ理論ヲ以テ測量シテ之ヲ決スルト云フコトハ甚

イケスカト思フノデゴザリマス、實地ノ事ヲ能ク諸君ニ於テモ御察シニナルコトヲ希望スルノデアリマス、其第一ニ述ベマスル法律改正ヲ以テ醫藥分業ヲ爲スハ策ノ得タルモノニアラズト云フコトニ就イテ述ベマセウト思ヒマスルガ、唯此醫藥分業ト云フモノハ、私ハ絶對的ニ是ガ惡ルイト云フコトヲ申シハ致シマセヌケレドモ、卓上ノ議論ヲ以テ之ヲ法律デ禁令スルト云フコトハイカナイト思フ、醫師ノ藥局ニ於テ調剤スルコトヲ禁令スルコトハイカナイト思フ、自ラ此社會ノ事ト云フモノハ國風モアレバ、民情モアリマシテ、又習慣モゴザイマスルシ、貧富ノ度モアリマスル所ノモノデゴザリマス、此法律ヲ以テ醫藥分業ヲ爲シマセウト思ヒマスル時ニハ、是ニ於テ其法律ノ結果ト致シマシテ、此法律ノ結果ト致シマシテ、生ジマスル所ノ諸般ノ事物ニ對シマシテハ、豫メ之が準備ヲシテ以テ、此改正ヲセヌケレバナルマイト思ヒマス、此醫藥分業デナクシテ、今日マデ兼業ヲ致シテ居リマスルト云フコトハ、我邦古來ノ習慣デゴザリマシテ、一ハ以テ醫師ノ既得ノ權ト云フ如キヤウニナツテアルノデアル、併ナガラ惡ルイ所ハ是ハ改正ヲセヌケレバナルマラヌケレドモ此習慣ト云フモノハ數千年以來習慣ニナツテ居ルノデゴザリマス、又一ハ以テ國風民情ノ歸著スル所デゴザリマスノデアル、然ルニ之ヲ一朝國風民情ニ悖リマシテ、習慣ヲ破ラウトシマスル時ニハ、餘程考ヘヌナラヌコトデアラウト思ヒマス、抑々我國ノ現時ノ形勢ヲ察シマスルノニ、先づ其民力ノ貧弱、衛生思想ノ未ダ幼稚デアルト云フコトハ、賣藥ノ流弊非醫者ニ致シマシテ、醫師ノ行爲等ヲ混沌復雜致シテ居リマス所ノ世ノ中デアリマスル、農工商ニ拘ヘリマセズ、僅ニ唯稼ギ賃ニ依頼ヲ致シマシテ、生活ヲ爲シマス、一旦病ニ罹リマスル時ニ於キマシテハ、醫療ヲ受ケルモ藥價ヲ拂フコトガ出來マセヌ所ノモノハ、實ニ之ヲ概シマスレハ、十中ノ二ニ下ラヌモノデアラウト思ロマスケレドモ、世人ガ所謂醫師ト云フモノハ其職務トスル所ハ一ノ仁術のノ職務デアルト云フ所ヲ以テ、此藥價ヲ拂ハヌ所ノ者ガゴザリマシテモ、之ヲ格別ニ怪シムデゴザリマスレハ、又醫師ニ於キマシテモ自ラ認メマシテ、藥價ヲ催促スルト云フコトノ懇切ニ治療デハナツテ居ル、從來サウ云フコトノ慣習ニナツテ居ルノデゴザリマス、ソレデ醫師ハ怪シマヌノミデゴザリマス、縱令藥價ヲ拂ハヌ所ノ者ガゴザリマセウケレドモ、貧民ト見マス時ニハ其診療ノ依頼ニ應ジマシテ懇切ニ治療ヲ致シマシテ、先づ其醫師ノ常務——職務ヲ盡スト云フコトガ、是ガ則チ常態トナツテ居ル、是ガ古來ノ一ノ美法デアルト私ハ考ヘルテノデゴザイマス、固ヨリ此醫藥分業ヲ致シマシテ、一ハ此醫師ノ方へ診察料ヲ拂ヒ、又一ハ此藥價ヲ藥劑師ニ拂フト云フコトニナリマシタナラバ、中等以上ノ則チ上等社會ノ人ミノ資力ノアル人ミニ至リマシタナラバ、格別ノ差支ハ或ハナイコトシテ是ハ其當ヲ得タルモノデナイト思フノデゴザイマス、是マデニ於キマシテ此醫師ガ貧民ニ向ヒマシテハ、唯今申シマスルヤウナ如キコトニナリ、又

中等以上ノ患者ヲ診察シマスル時ニナリマスルナラバ、則チ相當ノ謝義ヲ受ケテ以テ醫師ガ生活トサウシテ其職務ヲ盡スト云フコトニ至リマシタノト云コトニナリマシタナラバ、貧民患者ハ先ツ、醫療ヲ受ケルニ餘地ガゴザリマセヌカラシテ、一種萬能ノ賣藥ヲ以テ、之ヲ其病ヲ愈サウトスルカ、又或ハ加持祈禱ニ依頼ヲ致シマシテ、遂ニ非命ノ死ニ陥ルヤウナモノガ比々ナイトハ言ハレマセヌノデハゴザイマセヌト思フ、故ニ法律改正ヲ以テ醫藥分業ヲ爲スト云フコトハ、豫メ貧民患者ノゴザイマスルニ對シマシテハ、救療法ト云フモノヲ設ケマシテ、而シテ後ニ之ヲ施セバ、或ハ施セヌコトモナイカモ知レマセヌケレドモ、豫メ貧民ニ對スル所ノ弊害ト云フコトヲ備ヲ致シマシテ、而シテ分業ヲ致シマセヌケレバ、イカナイト思ヒマス、又今日ニ於キマシテ、醫業分業ト云フコトハ、自ラ此都市ノ區別ナク、或ハ醫師ノ手許カラ方劑書ヲ藥劑師ニ配付致シマシテ「吾ミノ駿論ニ就イテ駿セ」ト呼フ者アリ)醫藥分業ヲ自ラ爲シテ居ル者モアルデゴザイマス、又是ハ自然ノ成行ニ任シテス、凡ソ其醫師ガ患者ヲ扱ヒマスル時ニ至リマシテ、往診ヲ致シマスルト、或ハ自宅デ診察ヲ致シマスルト云フ場合ニナリマシタ時ニハ、病勢ノ或ハ經變化ヲ來スカ、又劇症ニシテ如何ナル危篤ニ陥ルカモ知レマセヌト云フヤト云フコトヲ聞キタイモノダ(ト呼フ)ソレカラ此治療上ノ不便デゴザイマスコトガ澤山ゴザイマス、例ヘバ茲ニ陽室扶私ノ患者ガアルトカ、或ハ赤痢ノ患者ガアルト云フヤウナ場合ニナリマシテ、其病氣ガ今暫ノ間ハ如何ナル場合ニ至リマスレバ、患者ノ往診ヲ乞ニ來ル來ニ拘ラズ一定ノ時間ニ診察ヲ致シマシテ、十分ニ治療ノ道ヲ盡サネバナラスト云フコトハ、醫師ノ義務デアリマス(小室重弘君「醫師ガ藥ヲ盛ルノ資格ガアルヤ否ヌコトガ澤山ゴザイマス、例ヘバ茲ニ陽室扶私ノ患者ガアルトカ、或ハ赤痢ノ患者ガアルト云フヤウナ場合ニナリマシテ、其病氣ガ今暫ノ間ハ如何ナル場合ニ至リマスレバ、患者ノ往診ヲ乞ニ來ル來ニ拘ラズ一定ノ時間ニ診察ヲ致シマシテ、十分ニ治療ノ道ヲ盡サネバナラスト云フコトハ、醫師ノ義務デアリマス(小室重弘君「ワレハ分業シテモ出來ル」ト呼フ)今少シ御聽キ下サイ、所ガデゴザイマス、若シ此醫藥分業トナリマシテ、一方ニハ開業醫師ニ診察料ヲ拂ヒ、又一方ニハ藥劑料ヲ藥劑師ニ拂フト云フコトニナリマシタナラバ、診察料ガ出セヌト云フヤウナ場合、又診察料ヲ出スコトヲ拒ム精神ヲ持ツテ居リマンタナラバ、此危急ナル所ノ患者ニ對シマシテ、醫師ガ一定ノ時間ニ往ツテ診察ヲ致シマシテ、醫師ノ職務ヲ盡スト云フ所ノ結果ヲ見ルコトガ出來ナイコトガアラウカト思ヒマス、何トナレバ「邊往キマスレバ、診察料ヲ拂ハナケレバナラヌ、二邊往ケバ如何バカリノ診察料ヲ拂ハナケレバナラヌ、決シテ是ハイケマイト認ムルノデアル、甚ダ治療上ニ差支ヲ生ズル、ワレ故ニ私ハドウシテモ此治療上ニ於テモ差支ヲ起スデアラウト思フノデアル(小室重弘君「ソレハ診察料ヲ取ラウト思フカライケナイ」ト呼フ)諸君

ハ診察料ハ醫師ハ取ルベキモノデナイト云フ精神デアルナラバ、此醫藥分業ハ出來ナイ筈デアル、一方ニ醫藥分業ヲシテ、一方ニ藥劑師ニ藥劑料ヲ拂ヒ、一方ニ診察料ヲ拂フト云フコトニナリマスト云フコトハ、自然ノ道理ナル、提出者ナル小室重弘君ハ何ト言ハレタ（小室重弘君「藥劑師ガ製藥ヲスレバ醫者モ……」ト呼フ木暮武太夫君「議論中ニ口ヲキクコトハ禁ジナケレバナラヌ」ト呼フ小室重弘君「サウ云フ人ガ口ヲキイテ居ルデハナイカト呼フ」サウ云フ譯デアリマス、既ニ發議者ノ小室君ガ御述ニナリマシタ通り、若シ醫藥分業ヲ致シマスレバ、行政官ガ診察料ノ限度ト藥價ヲ定ヲシテモ宜シト言ハレタガ、是ハナカノく實際ニむづかしいコトデハナイカト思フ、醫者ノ診察料——今ノ醫者ハドレダケノ種類ガアルカト云フニ、私ガ茲ニ取調べタル所ノモノガゴザイマスガ、大學卒業ノ者、高等中學校卒業ノ醫者、ソレカラ府縣立醫學校卒業ノ者、奉職履歴、外國醫學校ノ卒業生、從來開業、限地開業トスウ云フヤウニ、其他試驗ニ應ジタ醫者、斯ウ云フ種類ニ醫者ノ種類ガナツテ居ル、若シ茲ニ行政官ガ診察料ヲ定メ、或ハ藥劑料ヲ極メルト云フコトニナリマスレバ、醫者ニ就イテ大變階段ヲ定メマシテ、サウシテ極メルト云フコトニナリマス、行政官ガ斯フ云フコトガ出來マセウカ、私ハ決シテ出來マスマイト思フ（小室重弘君「最低度ヲ極メテ置ケベ宜シイ」ト呼フ）又私ガ茲ニ諸君ニ述ベヤウト思フハ衛生上ノ關係デゴザイマス、我邦ニ於キマシテ醫師ノ藥劑調合ト云フモノハ、前陳致シマス如ク、古來ノ慣行デゴザイマシテ、決シテ法律ノ是ヲ停止スルト云フコトハ出來ベキモノデナイト云フコトハ、前陳致シマシタ如クデアリマス、醫師ガ開業試驗科目中ニ於キマシテモ、唯今提出者ノ御述ニナリマシタ如ク、醫師ハまるデ藥ノコトハ知ラヌヤウニ御述ニナリマシタケレドモ、決シテサウデナイ、此醫師ノナイト云フモノハ、斯ウ云フコトニナツテ居ル、物理學、化學、解剖學、生理學、外科學、內科學、藥物學、眼科學、產科學、病床實驗、臨床實驗、是ダケアル、其中ニ藥物學ト云フモノガ、醫師ノ方ニハ固ヨリ設ケテアル、或ハ十分ニ其製藥ノコトジャトカ、又其他藥劑師ニ關係シマスル所ノ織密山ナル學科ハナキニ致シマシテモ、藥物ノ事ハドウ云フ藥ヲ用フレバ、ドレダケノ效能ガアル、ドレダケノ分量ヲ用フレバ、ドレダケノ……デ、サウシテ其反應ハドウナツテ來ルト云フコトハ、藥物學ノ中ニアルノデアリマス、決シテ何ニモ知ラヌ者ガ、調劑スルト云フ譯デナイ、極リ切ツタ話デアラウト私ハ思ヒマス、又今度ハ餘り本案ニ就キマシテ、理由書ノ中ニモゴザイマセヌデシタガ、澤山ニ效能書ガ述ベテゴザイマセヌデゴザイマシタガ、其醫師ノ方ニ藥劑ヲ調合致シマス時ニナルト、或ハ知ラヌ者ガ調合スルカララ、藥ノ誤ガアル、藥劑師ガ調合スレバ藥ノ調合ニ就イテ誤ハナイト云フ、テサウ云フ道理ニハ往カヌ、藥劑師ガ調合スルカラト云ツテ、決シテ誤ガナイト云フコトハ、斷言ノ出來ナイノデアル、ナゼカト云フト、藥劑師ト雖モ

自ラ藥剤ハシナイ、自ラ調合ハシナイ、或ハ丁稚小僧ニ調合フサセテ居ルモノモアル、現ニ東京アタリハサウナッテ居ル（小室重弘君）ゞくどる先生モ自ラ致サヌ、代脈ガアル、例外ヲ以テ見レバサウダ「ト呼フ」是ガ則チ藥剤師ガ調合致シマスカラ誤ガナイト云フコトハ、斷言ガ出來難イノデアル、其故ニ若シモ此處デ其醫藥分業ヲ致シマスルト云フコトニナリマシタナラバ、詰り其醫師ノ治療ヲ受ケル者ガ二重ノ稅ヲ拂ハナケレバナラスト云フ結果カラ、中等以下則チ貧民ニ於テハ掛レヌト云フ曉ニデス、其時ニハ治療ヲ託セラレヌト云フ曉ニハ、其時ニハ則チ前ニ申シマシタ所ノ一種萬能ノ賣藥、加持祈禱ニ依頼ヲ致シマシテ、其極マル所、若シモ此所ニ傳染病ガゴザリマシタ時ニ、其冥々ノ中ニ遂ニ傳染病ノ澤山ニ發生ヲ致シマシテ、他ニ蔓延ヲスルト云フノ恐ハ、決シテ免レヌコトデアラウト思フコトデゴザイマス、故ニ衛生上ノ點カラ以チマシテモ、其通デアリマス、又小室君ノ御話ヲ承リマスト、此醫者ノ方ニ藥局ニ備ツテ居ル藥ハ、或ハ腐敗ニ傾イテ居ル、陳腐デアルト云フヤウニ御述デアリマスガ、決シテ左様ナ譯デハアリマセヌ、サウ云フ譯ナモノデナインデアリマス、又醫師ノ藥局ニ備ツテ居ル藥ガ陳腐ニ屬シテ居ルト致シマシタナラバ、藥剤師ニ備ヘテ置キマス藥ハ陳腐ニ流レテ居ルカモ知ラヌ、其點ニ就イテハ五十步百歩デどちらモ違ッタコトハナイト思ヒマス、特ニ醫者ノ藥局ニ來マス藥ハ、既成ノ物デゴザイマシテ、既ニ成タル藥デアリマスカラ、既成ノ藥ガ腐ルト云フコトハナイ、日本藥局法ニ據ルトカ、或ハ外國藥局法ニ據ルトカシタル藥ヲ用フルト云フコトニナシテ居ルカラ、決シテ不正ナ薬品ヲ醫師ノ藥局ニ備ヘテ置クト云フコトハ、相成ラヌノデアリマス、又私ハ終リニ臨ンデ一言申上ゲタイト思フコトハ、若シ醫藥分業ヲ致シマシタナラバ、先刻どなたカガ御質問ニナリマシタ通り、唯今ノ日本ノ醫者ト云フモノハ、其數ガ三万九千餘ノ醫者デアル、其中ニ從來開業醫即チ漢方醫ナル者ガ二万七千餘ノ漢方醫ガゴザイマス、其此藥室ニハ所謂其藥ガ日本藥局法ニモナイ、又外國藥局法ニモゴザイマセヌ所ノ一種ノ藥ガ澤山アルノデス、ソレハ則チ先刻モ御話ノ如ク漢藥デス、サウ云フモノハ澤山備ヘテアル、所ガ今日ノ從來ノ開業ノ漢方醫ト云フモノハ、唯漢藥バカリヲ用ヒテ居ルノデハナイ、西洋藥モ兩方用ヒテ居ル、所ガ醫藥分業ヲ致シマスレバ、漢藥ノ方ノ調合ハ醫師ノ藥局ニ調合ラスルトカ、或ハ他ニ調合スルウ云フ譯ニナリマスカラシテ、此醫藥分業ノ結果トシテハ、實際ニ大變ナ差所ノ場所ヲ設ケナケレバナラヌデアラウト思フ、デ今ノ藥剤師ノ調合ノ出來ル所ノ藥ダケハ、藥劑師ニ調合ハ出來マセウガ、藥剤師ノ中ニ調合ノ出來マセヌ所ノ藥ハ、決シテ其藥剤師ニ新ニ調查スルト云フコトハ出來ナイ、サウ云フ譯ニナリマスカラシテ、此醫藥分業ノ結果トシテハ、實際ニ大變ナ差支ヲ起シテ來ルコトハ明ナ話デアリマス、唯卓上ノ議論ヲ以テ一朝ニ之ヲ分業ヲセシメヤウト云フコトハ、決シテ出來ルモノデナイト云フコトヲ斷言シテ止マヌノデゴザイマス

明治二十八年二月十五日

明治二十二年法律第十號中改正法律案

第一讀會



スルノデアル、但シ勝坂君ハ此限りニアラズト云フコトヲ一言シテ置キマス（「ひやく」ト呼フ者アリ、笑聲起ル）又貧民ガ困ルト云フコトデゴザリマスガ、此凡ソ貧民ヲ救助スルト云フコトハ、吾々ガ文明ノ世ノ中ニ對シテ、決シテ御醫者一人ニ委託シテ置クト云フ積デハナイ、段々進シテ來ルニ從ツテ、貧院貧病院モ立テネバナラヌ、ソレく國家ガ致ス義務ガアル、年人口ガ殖エテ來テ、段々國ガ發達スルニ從ツテ、貧民ガ殖エル、其貧民ヲ御醫者一人ニ被ブセテ置カウ、御醫者モ亦ソレヲ擔任シテ往カウト言フノハ隨分譯ノ分ラヌ話ト思ヒマスカラ、決シテ御醫者ガ貧民ガ困ルカラト言フテ、ソレマデ御心痛ニハ及バナイ、ソレヨリハ德義ヲ重ンジテ、貧民ニ施藥シタ、施藥シタト言フテ大變曹達ヲ澤山書上ゲテ、安イ藥ヲ書上ダテ置イテ、年暮ニナルト統計表ヲ拵ヘテ申立テ、幾ラダケ施藥致シマシタ、何千何百圓施藥シタト云フコトヲ言フテ、貧民救助ト言フテ貧民ノ頭ヲばつテ置キナガラ、施藥ヲ申立テ、木杯ヤ銀杯ヲ貰フト云フヤウナ者モ醫師ノ中ニハ澤山アル、唯藥價ト云フモノ、頭ヲばつテ食フテ居ルバカリナラバ、マダマダ怒スベキデアルガ、ソレヲ以テ利用シテ賞杯マデ戴カウト云フ場合ニ至ッテ居ル（「問題外ダ」ト呼フ者アリ）是ハ則チ實際ヲ穿鑿ヲセヌケレバイカヌト云フ御說ガアツタカラ、御醫者ノ實際ヲ探ツタ御話デゴザリマス、又醫藥分業ニ致シマスルト云フト、何ヤラ診察料ガ取レヌトカ云フヤウナ御話ガアツタデゴザリマスガ、サラバ非分業ノ間ニ於テハ良心ガアツテ貧民ヲ救助スルケレドモ、分業ニナツテ仕舞フト、良心ハ最早何處カ往ツテ仕舞フト云フ御說ニ過ギザルモノデ、其時ニナツタラ醫者モ今日ノ心掛デ診察料ヲ門口カラねだッて歩クニモ及ビマスマイ、此時ニ至リマシテハ矢張良心ニ於テ今日マデノ仁心ヲ以テ往キ、又藥劑師ト云フモノモ則チ醫者ニ掛ル所ノ仁心アル處ノモノモアッテ今日ソレく施藥モ澤山シテ居ルノデゴザリマスガ故ニ、今日醫師ガ分擔シテ居ル所ヲ、藥劑師ト共ニ分擔致シマシタナラバ、則チ一人ノ仁心善心ト云フモノヲ二人デ分擔スルコトニナリマスカラ、益々分業ノ曉ニナリマシタナラバ、世間ノ貧民ト云フ者ハ、困難トナラヌヤウニ相成ラウト考ヘルノデゴザリマスデ、其他大分斯ウ云フ學問ヲ卒業シテ居ル、アヘ云フト云フ方デ學校ノ統計表ガ舉リマシテ、ソレニ依ツテドウスウト云フ御話ガゴザリマシタガ、苟モ分業ノ制ヲ施行シタ曉ト云フモノハ、醫藥分業シタル所ノ國ニハ、藥劑師ニ對シマシテハ即チ最低額ト云フモノガ規則ノガ付イテ回ラネバナラヌモノデゴザイマス、學校ノ事ニ就キマシテハ大變ニ斯様々ナ學問ヲナサルトカ、ナスクタトカ云フ御話ガアリマスケレドモカラ、御心配ナク分業シタトテ放任シテ置クノデナク、ソレく規則ト云フモノガ付イテ回ラネバナラヌモノデゴザイマス、學校ノ事ニ就キマシテハ大變ニ斯様々ナ學問ヲナサルトカ、ナスクタトカ云フ御話ガアリマスケレドモガ、則チ藥學ト云フモノハシナイノデアル、則チ醫者ハ斯ウ云フ藥ヲ用井レバ

ゲテ見マスルト云フト、私ハ醫者其人ハ指シマセヌガ、是ハ現ニ佐々木東洋氏ノ内ニテモ私ガ話シタコトガアル、硝酸銀ヲ調合シタルニ飯粒デ固メタルノヲ見マシタコトガアルト云フコトヲ話シタコトガゴザリマス、デ私共ハ誠ニ化學ノ學問ト云フハ深クシナイカラ、實ニ未熟デアリナガラ、硝酸銀ト云フモノハ飯粒デ固メマシタナラバ、有機體ト共ニ腹中ニ這入リマシタラ、中デハ分解シテ仕舞シテ硝酸銀ノ效能ハナクナッテ、唯ノ銀ノ玉ヲ飲ンダト同ジコトニナリマス、現ニ私が或ル醫者ガ或ル者ニ對シテ其藥ヲヤッタノヲ見タ位デアリマス、若モ醫者ガ此藥ト此藥ト調合シタラドウナルト云フ化學ノガアッタナラバ、コンナ子供ノヤウナコトハシナインデアル、中ニハ健胃劑トシテ鹽酸ヲ用ヒ或ハ炭酸曹達ヲ交ゼテ飲マセル位ノコトハ往々アルノデアル、サウ云フコト、云フノハ、此藥ハ何ニキクト云フコトダケヲ知ッテ、藥學ヲ知リマセヌ故ニ、立派ナ大學ヲ卒業シタ人ハ知ラストハ申サヌガ、藥學ヲ知ラザル故ニ藥ノ化合ニ依ツテ如何ナル變化ヲ起スト云フコトヲ知ラヌカラデゴザリマス、鹽酸ト炭酸曹達トデハ食鹽ガ出來ル位ノコトデ、胃ノ腑ガ鹽辛イト云フ感シヲ起スマデ、何デモナイデスガ、物ニ依リマスト調合ノ有様ニ依ツテ腸中ニ至ツテ一種ノ激毒ヲ生ズルト云フコトハ澤山アルノデゴザイマス、故ニ是等ト云フモノハ脇坂君ノ御話モアリマシタガ、醫者ノ試驗ノ中ニナシ、醫者モ學バヌノデゴザリマス、是ガ危險ダカラ、是ヲ學ンダ所ノ藥劑師ト云フモノヲ分業シテ、是ニ調合サセルト云フノデゴザリマス、是ガ分ラヌト云フ所ヲ見ルト、矢張醫藥分業ニ反對ナサルノモ無理ハナイト思フノデゴザリマス(「簡單々々」ト呼フ者アリ)簡單ト云フ御言葉デゴザリマスデ、是デ止メマス

○堀越寛介君(二百四十二番) 議長ニちよつと念ノタメ伺ッテ置キタイ、議長ハ、討論終結ノ先刻私ハ動議ヲ提出致シマシテ、議場ニ賛成ガゴザリマシタ、然ルニ中村君ノ登壇ヲ御許ニナツタノハ、如何デゴザリマスカ、定メシ通告シテアッテソレデ登壇サセタノデゴザリマセウガ、唯今マデノ所ニ置キマシテハ、討論終結ノ動議ガ出マスルト云フト、議長ヨリ通告者ニ向ツテ御相談ハナイヤウデゴザリマス、然ルニ中村君ニ限ツテ此御相談ガアルノハ如何ナル次第デゴザリマセウカ、此事ヲ議長ニ伺ヒマス

○議長(楠本正隆君) ソレハサウ云フ次第デハナイ

○堀越寛介君(二百四十二番) 今マデ討論終結ノ動議ガアレバ……

○議長(楠本正隆君) 先づ御聽キナサイ、討論終結ヲ發シテモ議場ノ德義トシテ、是マデハ反對ガアレバ必ズ賛成ノ討論ヲサセルト云フノハ、議場ハ大ニ注意フシテ來タ自然ノ慣例デゴザリマス、ソレヲ知ラヌ人ハ大ニ是マデノ順序ニ迂イノデアル——決議ヲ採リマス

二七

ナル問題デ、此處デ輕々ニ決議スルト云フコトハ勿輕モ甚シイ故ニ委員ヲ設ケテ之ヲ審査セシムルト云フ則チ先決問題ヲ提出致シマス

○吉本榮吉君(六十四番) 委員ヲ設ケルニハ及ビマセヌ、直ニ決スレバ宜シ

イノアゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 委員說ニハ贊成ガアリマスルカ

〔贊成タク」ト呼フ者アリ又「反對タク」ト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 然ラバ先決問題トシテ、金岡又左衛門君ノ委員ニ付託スルト申スコトニ、同意ノ諸君ハ起立

起立者

少數

○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマス——第二讀會ヲ開クノ決議ハ議長ハ無記名投票ヲ以テ行ヒマス——閉鎖——是ヨリ點呼ヲ始メマス

〔町田書記官氏名ヲ點呼ス〕

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ開匣ヲ致シマスル

〔書記官投票及名刺ノ數ヲ計算ス〕

○議長(楠本正隆君) 投票ノ結果ヲ報ジマスル

總數  
百六十七

名刺モ亦同シ

可トスル者 七十二

否トスル者 九十五

(拍手起ル)

○議長(楠本正隆君) 該案ハ否決ニ屬シマス、次ハ第六洪水臨時防禦ニ關スル建議案——櫻井勉君

櫻井勉君

(拍手起ル)

第六 洪水臨時防禦ニ關スル建議案(櫻井勉君外六名提出)

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

洪水臨時防禦ニ關スル建議案

限防ヲ修築シ水流ヲ疏導スルハ土木行政上ニアリテ固ヨリ平常ノ要務ナリ

トス然レトモ洪水ノ將ニ至ラムトスルニ臨ミ豫メ洪水ノ來襲スヘキコトヲ

警報シ其ノ來襲スルニ及ヒ適宜之ヲ防禦スルカ如キハ亦臨時ノ急務ナリト

此ノ臨時ノ急務ハ從前一二地方ニ於テ之ヲ施行セサリシニアラサリシ

モ其ノ方法既ニ完全ナラス加フルニ維新以來其ノ制亦漸ク解弛セルヲ以テ

此ニ於テ水利土功組合ノ制ヲ設ケラレタリト雖之ヲ組織セシモノノ極メテ

少ク會マ組織セシモノアルモ其ノ效益顯著ナルモノハ極メテ鮮少ナリ近來

隣防ノ破潰橋梁ノ流失人畜ノ流亡家屋ノ漂蕩彼是相望ム依テ其ノ原因ヲ討

求スルニ隣防修築水流疏導宜ヲ失スルカ如キ固ヨリ其ノ一大原因タルヘシト雖洪水ノ警報及其ノ防禦ノ制ナキモ亦其ノ一大原因タラス當局者ニアリテ速ニ洪水警報及臨時防水ノ制ヲ立案提出セラレムコトヲ望ム

右建議候也

○櫻井勉君(二百二十一番) 小室君ガ代リマシテ……

○議長(楠本正隆君) 小室重弘君

〔小室重弘君演壇ニ登ル〕

○小室重弘君(九十八番) 諸君、櫻井君ガ御述ニナル所デゴザイマシタガ、都合デ私カラ一ト通説明ヲ致シマス、極ク簡單ニヤリマス、此洪水臨時防禦ニ關スル建議ト云フノハ、此理由書ニモゴザイマスル通ナ譯テアリマシテ、我邦ノ年々ニ洪水ノタメニ損害ヲ蒙ル所ノモノハ、即チ近ク十年ノ間ヲ見マスルト、六千六百八十九人ト云フ人、一億三千三百有餘万ノ財産ガ此水ノタ

メニ損害ヲ蒙ルノデアルカラ、出來ルダケノ法ヲ以テ害ヲ防ガナケレバナラヌト云フコトニ就イテハ、近來氣象學等ガ大ニ進歩致シタ譯デゴザイマス

ル、デソレデ此氣象臺或ハ測候所、若クハ量水標ト云フヤウナモノヲ利用シテ、而シテ此警報ヲ發スルト云フコトニ致シマシタラバ、頗ル害ヲ防グニ足ルデアラウ、上流ヨリ下流ニ向クテ、其警報ヲ發スルト云フヤウニシタナラバ、餘程利益ガアルト言フノデ、此事ハ歐羅巴諸國ニ行ハレテ居リマス洪

水警報ノ組織ニ倣フテ、我邦ニ於テ是ヲ實行シヤウト云フノデゴザイマス、歐羅巴大陸デハ各國ニ此例ガゴザイマスガ、就中佛蘭西ノ如キハ最モ洪水警

報ノ組織ガ完備シテ居リマスルコトゴザイマス、ソレハ諸君モ御承知ノコト、思ヒマスカラ、細カニハ述べマセヌデアリマス、今此各地ノ河ノゴザイ

マスル、各所ニ量水標ヲ建テ、又ソレカラ中央ニ向クテ雨量ノ模様、雨ノ多

サ、或ハ水ノドノ位來タルト云フコトヲ測テ、是ヲ中央ニ警報ヲスル、

而シテ中央ガ丁度今日ノ暴風ノ警報ヤ何カノヤウニ、地方ノ下流ノ方ニ向ク

テ警報ヲ發スルト云フ組織ヲ作ルノデゴザイマス、左様ニ致セバ大ニ此豫防

ヲスルコトガ出來得ルト言フノハ、則チ今マテ信濃川或ハ北上川等ニ於テ既ニ試ミテゴザイマス、其結果ハ餘程宜イ結果ヲナシテ居ルノデゴザイマス、

信濃川デ長野ニ此警報所ヲ置キマシテ、又新潟ノアタリニ向クテ、是ヲ發シ

テ所ノ其成績等ガゴザイマス、或ハ四十時間位、若クハ五十時間位ノ早サニ

前以テ是ヲ報告ガ出來ルト云フコトデゴザイマシテ、是ヲ今全國ノ日本ノ河

河ニ組織致シマスルナラバ、餘程ノ金モ——經費モ要スルコトデゴザイマス

ケレドモ、併ナガラ割合ニ他ノ事業程デハナイ、今洪水ノタメニ財產ヲ失フ

ノデ、日本全國ニ行クテモ、僅ニ八万有餘モ金ガアルナラバ、此組織ガ出來

ル、又信濃川或ハ北上川位ニ試ニ此事ヲ完全ニヤラシテ、模範ヲ作ブテ往ク

ト云フコトデアリマスレバ、四千餘圓ヲ出來ルト云フコトデゴザイマス、ソ

レ故ニ此事ハ當局者ニ於テ能ク調ヲシテ貰ツテ、而シテ全國ニ漸次此事ヲ行フ

コトニ致シタクイト云フノガ、建議ノ大體デゴザイマス、尙ホ細カニコトハ

櫻井君カラ御辯明ニナル筈デ、本員ハ是ダケ述べテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 小西甚之助君

○小西甚之助君(六十三番) 私ハ極ク短カニヤリマス、本案ハ洪水警報及臨時防水ノ制ヲ立テタイト希望シテ、而シテ此議案ヲ政府ニ向ツテ求ムルノガ、即チ建議ノ精神デゴザイマス、私モ此供水警報及臨時防水ノ制ヲ立テタ云フコトニ就キマシテハ、提出者ト其感ヲ同ウスルモノデアル、然レドモ此成案ヲ政府ニ向ツテ求ムル點ニ至リマシテハ、遺憾ナガラ反対ヲ表セナケレバナラヌノデゴザイマス、私ノ反対ノ精神ハ蓋シ議會ノ權能ニ關スルモノデゴザイマス、此議會ノ權能上ヨリ論シ來リマシテ、勢反対ヲ表セナバナラヌ仕合トナツタノデゴザイナス、御承知ノ如ク議會ハ自ラ法律案ヲ提出シ得ルコトハ憲法ニ示シテアルコトニシテ、此權能ト云フモノハ最モ貴重ナルモノデアル、故ニ此權能ハ決シテ自ラ擲ツト云フヤウナコトハ爲サナイコトニ注意ラシナケレバナラヌコト、私ハ思ロマス、併ナガラ如何ニ議會ガ自ラ議案ヲ提出シ得ルノ權能ヲ持ツテ居ツテ居ト場合ト、又物事ニ依リマシテ、政府ニ向ツテ其成案ヲ出シテ下サイト云フテ求メナケレバナラヌコトガアルノデアル、蓋シ此事ハ二ツデアル、第一ハ議會ノ權限上成案シ得ベカラザルコト、是デアル、第二ハ議會自ラ成案スルニ不便ナルコト、即チ是デアル、第一ノ議會ノ權限上成案シ得ベカラザルコトハ何デアルカ、彼ノ豫算ノ編成ニ關スルコトノ如キ、則チ是デアル、又議會自ラ成案スルニ不便ナルコト、ハ何デアルカ、例ヘバ行政機關ヲ使用スルニアラザレバ、決シテ其得失ヲ知ルコトガ出來ナイ、又其方法ヲ調査スルコトモ能ハナイト云フ事柄、即チ是デゴザイマス、故ニ此二ツノ場合ニ限ラナケレバナラヌノデアリマス、此二ツ以外ニ於テ、議會ガ政府ニ向ツテ法律案ヲ出シテ下サイト求ムルガ如キハ、是レ取モ直サズ議會自ラ無能無知ヲ世ニ示スト言ハナケレバナラヌノデゴザイマス、此洪水警報及臨時防水ノ法律案ノ如キハ如何ガノモノデアルカ、其性質ヲ考ヘ來ルニ、決シテ今述べタル所ノ第一ノモノニ當リマセヌ、第二ノモノニモ當リマセヌ、適當ニ議院ニ於テ成案シ得ベキ性質ノモノニ屬スルト云フコトヲ私ハ思フノデアル、斯ク言ハバ必ず反対論者ハ言フデアラウ、彼ノ雨量ノ測候法ヤ、又ハ量水法ヲ適用シ得ベキ所ノ河川ヲ調査スルト云フヤウナコトハ、到底議院ニ於テ爲シ得ベカラザルモノデアルト、斯ノ如キコトヲ必ズ言フデアラウ、然レドモ斯ノ如ク調査ヲ致シテ、施行ノ順序方法ヲ定ムルヤウナコトハ、固ヨリ施行細則ニ關スルモノデゴザイマス、故ニ敢テ議院ニ於テ調査ノ必要ハナイモノデアル、ソレガ斯様ナモノデアル、然ルニ斯ノ如キ性質上成案シ得ベキ事柄ヲ政府ニ向ツテ求ムルハ必ズ他日不完全ナル所ノ決議ヲ爲スコト豫メ世ニ表白スルモノト言テ、決シテ不可ナイコト、思ヒマス、故ニ私ハ此建議ヲ爲サズ、斯ノ如キコト

トハ提出者ニ於テ十分調査ヲ盡シテ、而シテ本會ニ提出セラレンコトヲ望ム、又本會ニ提出スルノ暇アラザレバ、次ノ議會ニ提出セラル、モ決シテイト云フコトニ就キマシテハ、提出者ト其感ヲ同ウスルモノデアル、然レドモ此成案ヲ政府ニ向ツテ求ムル點ニ至リマシテハ、遺憾ナガラ反対ヲ表セナケレバナラヌノデゴザイマス、私ノ反対ノ精神ハ蓋シ議會ノ權能ニ關スルモノデゴザイマス、此議會ノ權能上ヨリ論シ來リマシテ、勢反対ヲ表セナバナラヌ仕合トナツタノデゴザイナス、御承知ノ如ク議會ハ自ラ法律案ヲ提出シ得ルコトハ憲法ニ示シテアルコトニシテ、此權能ト云フモノハ最モ貴重ナルモノデアル、故ニ此權能ハ決シテ自ラ擲ツト云フヤウナコトハ爲サナイコトニ注意ラシナケレバナラヌコト、私ハ思ロマス、併ナガラ如何ニ議會ガ自ラ議案ヲ提出シ得ルノ權能ヲ持ツテ居ツテ居ト場合ト、又物事ニ依リマシテ、政府ニ向ツテ其成案ヲ出シテ下サイト云フテ求メナケレバナラヌコトガアルノデアル、蓋シ此事ハ二ツデアル、第一ハ議會ノ權限上成案シ得ベカラザルコト、是デアル、第二ハ議會自ラ成案スルニ不便ナルコト、即チ是デアル、第一ノ議會ノ權限上成案シ得ベカラザルコトハ何デアルカ、彼ノ豫算ノ編成ニ關スルコトノ如キ、則チ是デアル、又議會自ラ成案スルニ不便ナルコト、ハ何デアルカ、例ヘバ行政機關ヲ使用スルニアラザレバ、決シテ其得失ヲ知ルコトガ出來ナイ、又其方法ヲ調査スルコトモ能ハナイト云フ事柄、即チ是デゴザイマス、故ニ此二ツノ場合ニ限ラナケレバナラヌノデアリマス、此二ツ以外ニ於テ、議會ガ政府ニ向ツテ法律案ヲ出シテ下サイト求ムルガ如キハ、是レ取モ直サズ議會自ラ無能無知ヲ世ニ示スト言ハナケレバナラヌノデゴザイマス、此洪水警報及臨時防水ノ法律案ノ如キハ如何ガノモノデアルカ、其性質ヲ考ヘ來ルニ、決シテ今述べタル所ノ第一ノモノニ當リマセヌ、第二ノモノニモ當リマセヌ、適當ニ議院ニ於テ成案シ得ベキ性質ノモノニ屬スルト云フコトヲ私ハ思フノデアル、斯ク言ハバ必ず反対論者ハ言フデアラウ、彼ノ雨量ノ測候法ヤ、又ハ量水法ヲ適用シ得ベキ所ノ河川ヲ調査スルト云フヤウナコトハ、到底議院ニ於テ爲シ得ベカラザルモノデアルト、斯ノ如キコトヲ必ズ言フデアラウ、然レドモ斯ノ如ク調査ヲ致シテ、施行ノ順序方法ヲ定ムルヤウナコトハ、固ヨリ施行細則ニ關スルモノデゴザイマス、故ニ敢テ議院ニ於テ調査ノ必要ハナイモノデアル、ソレガ斯様ナモノデアル、然ルニ斯ノ如キ性質上成案シ得ベキ事柄ヲ政府ニ向ツテ求ムルハ必ズ他日不完全ナル所ノ決議ヲ爲スコト豫メ世ニ表白スルモノト言テ、決シテ不可ナイコト、思ヒマス、故ニ私ハ此建議ヲ爲サズ、斯ノ如キコト

トハ提出者ニ於テ十分調査ヲ盡シテ、而シテ本會ニ提出セラレンコトヲ望ム、又本會ニ提出スルノ暇アラザレバ、次ノ議會ニ提出セラル、モ決シテイト云フコトニ就キマシテハ、提出者ト其感ヲ同ウスルモノデアル、然レドモ此成案ヲ政府ニ向ツテ無知無能モ此成案ヲ政府ニ向ツテ求ムル點ニ至リマシテハ、遺憾ナガラ反対ヲ表セナケレバナラヌノデゴザイマス、私ノ反対ノ精神ハ蓋シ議會ノ權能ニ關スルモノデゴザイマス、此議會ノ權能上ヨリ論シ來リマシテ、勢反対ヲ表セナバナラヌ仕合トナツタノデゴザイナス、御承知ノ如ク議會ハ自ラ法律案ヲ提出シ得ルコトハ憲法ニ示シテアルコトニシテ、此權能ト云フモノハ最モ貴重ナルモノデアル、故ニ此權能ハ決シテ自ラ擲ツト云フヤウナコトハ爲サナイコトニ注意ラシナケレバナラヌコト、私ハ思ロマス、併ナガラ如何ニ議會ガ自ラ議案ヲ提出シ得ルノ權能ヲ持ツテ居マシテ、政府ニ向ツテ其成案ヲ出シテ下サイト云フテ求メナケレバナラヌコトガアルノデアル、蓋シ此事ハ二ツデアル、第一ハ議會ノ權限上成案シ得ベカラザルコト、是デアル、第二ハ議會自ラ成案スルニ不便ナルコト、即チ是デアル、第一ノ議會ノ權限上成案シ得ベカラザルコトハ何デアルカ、彼ノ豫算ノ編成ニ關スルコトノ如キ、則チ是デアル、又議會自ラ成案スルニ不便ナルコト、ハ何デアルカ、例ヘバ行政機關ヲ使用スルニアラザレバ、決シテ其得失ヲ知ルコトガ出來ナイ、又其方法ヲ調査スルコトモ能ハナイト云フ事柄、即チ是デゴザイマス、故ニ此二ツノ場合ニ限ラナケレバナラヌノデアリマス、此二ツ以外ニ於テ、議會ガ政府ニ向ツテ法律案ヲ出シテ下サイト求ムルガ如キハ、是レ取モ直サズ議會自ラ無能無知ヲ世ニ示スト言ハナケレバナラヌノデゴザイマス、此洪水警報及臨時防水ノ法律案ノ如キハ如何ガノモノデアルカ、其性質ヲ考ヘ來ルニ、決シテ今述べタル所ノ第一ノモノニ當リマセヌ、第二ノモノニモ當リマセヌ、適當ニ議院ニ於テ成案シ得ベキ性質ノモノニ屬スルト云フコトヲ私ハ思フノデアル、斯ク言ハバ必ず反対論者ハ言フデアラウ、彼ノ雨量ノ測候法ヤ、又ハ量水法ヲ適用シ得ベキ所ノ河川ヲ調査スルト云フヤウナコトハ、到底議院ニ於テ爲シ得ベカラザルモノデアルト、斯ノ如キコトヲ必ズ言フデアラウ、然レドモ斯ノ如ク調査ヲ致シテ、施行ノ順序方法ヲ定ムルヤウナコトハ、固ヨリ施行細則ニ關スルモノデゴザイマス、故ニ敢テ議院ニ於テ調査ノ必要ハナイモノデアル、ソレガ斯様ナモノデアル、然ルニ斯ノ如キ性質上成案シ得ベキ事柄ヲ政府ニ向ツテ求ムルハ必ズ他日不完全ナル所ノ決議ヲ爲スコト豫メ世ニ表白スルモノト言テ、決シテ不可ナイコト、思ヒマス、故ニ私ハ此建議ヲ爲サズ、斯ノ如キコト

ヒマンタガ、今マデ其機會ガアリマセヌノデ、試ニ先年長野ト新潟ノ間デ調

ヲ致シマシタガ、其時分ニハ大層好結果ヲ得マシタ、好結果ヲ得テ早イ時ハ

水ヨリ報告ノ方ガ二日モ三日モ早ク來タコトガアル、遅クモ三四十時間ヨリ

遅イコトハナイ、水ヨリ始終報告ガ早イ、其時ハマダ不完全デアリマシタ

ガ、此通デアリマスカラ、是ニ一層ノ完備ヲ加ヘマシタナレバ、大變ナ利益

ガアリマシテ、彼ノ先刻小室君が述ベラレマシタ所ノ幾千万ノ人命、又一億

万以上ノ損耗ヲ避ケ能フト信ジマスルノデゴザイマス、故ニ本案連名同志ノ

者ガ、此案ヲ提出致シタ譯デアリマシタ、諸先刻有名ナル小西君ノ御演説ヲ

伺ヒマシタガ、其御趣意ト申シマスルモノハ、此案ガ出來タナラバ議會ノ無

知無能ヲ現スト云フ所ノ御論デゴザイマス、無知無能ヲ現ス、此様ナ案ハ議

スペキモノデナイト云フ御論デゴザリマスルガ、實ニ驚入リマシタノデゴザ

イマス、凡ソ斯様ナコトハ學術上ノ原理カラ成立シモノデ吾ミノ素人デハ

ナカノ分リマセヌ、小西君ハ有名ナル博學多智ノ方デゴザリマスカラ、定

テ雨量ノ觀測ノコトモ御承知デゴザイマセウシ、或ハ量水ノ量リ方モ御承知

デゴザリマセウ、ソレヲ中央ニ集メテ其モノニ依シテ、警報ヲ發スルコトモ御

承知デアリマセウガ、不幸ニシテ吾ミ同志ニ於テハ左程マデノコトガ出來マ

セヌ、政府ガ既ニ目的ガアツテ、是ヲ施行シテ居レバ、吾輩同志モ是ヲ議場

ニ求ムルニ及ヒマセヌガ、不幸ニシテ政府ニ於テハ著手ガナインデゴザイ

マス、蓋シ政府ハ完全ナル先刻申シマシタ地質地形其外ノモノマデモ、揃

ヘテ後ニト云フ考デゴザイマセウガ、十分ニ是ヲ揃ヘルト云フコトハ、我邦

ノ改革以來間ノナイ國ハ出來能ハヌコトデアリマスカラ、今ノ雨量測候所、水

量測候所ノ二ツノモノヲ集メマシタナラバ、略々實施スルコトガ出來ヤウト

思ヒマスカラ、此案ヲ提出致シマシタノデゴザイマス、故ニ其事ニ就キマシテ

ハ十分ニ政府ノ當局者ニ調查ヲサセマセヌケレバ、迪モ議會デハ出來マイト

思フノデゴザイマス、費用モイリマスシ、學術モ要リマスシ、即チ是等ノタ

メニ此建議ト云フ門ガ開イテアルコトデアリマスカラ、議場ニ於テ必ズ法案

ニシナケレバナラムト云フコトハナカラウト思ヒマス、故ニ此案ノ必要ナ所

以、小西君ノ御討論ニ反対シマス所以ヲ簡單ニ陳述ヲ致シマス

(「討論終結」ト呼フ者アリ)

○吉本榮吉君(六十四番) 討論終結、即決ニ致シタウゴザイマス

○石原彦太郎君(二百八十七番) 唯今ノ所デ議員ノ出席者ガ定數ニ足ラヌト

思ヒマス、百名以下デス

(「アル」澤山アルト呼フ者アリ)

○議長(楠木正隆君) 大多數、該案ノ可決ヲ報ジマス——明日ノ議事日程ハ、

議案ノ都合ニ依シテ止ムコトヲ得ズ、延期ヲ致シテ、來ル十八日ノ日程ヲ報立

起立者 多數

(水野書記官長朗讀) ジマス

議事日程 第三十三號 明治二十八年二月十八日(月曜日)

午後一時開議

第一 日本銀行課稅法案

第二 酒造稅則中改正法律案

第三 外國畜類傳染病侵入ノ豫防法案

第四 郵便條例中改正法律案

第五 官有原野拂下ニ關スル建議案

第六 蠶業講習所設置建議案

第七 午後四時三十七分散會

○議長(楠木正隆君) 是ニテ散會ヲ報ジマス

第一讀會ノ續(特別委員長報告)  
第一讀會ノ續(特別委員長報告)  
第一讀會ノ續(特別委員長報告)  
第一讀會ノ續(特別委員長報告)

(特別委員長報告)

(特別委員長報告)

午後四時三十七分散會